



西宮市民憲章

美しい風光と豊かな伝統のまち、西宮の市民としてこの憲章を定めます。

これは未来へはばたくわたくしたちの合い言葉です。

その1 西宮を みどりと青空の明るいまちにしましょう

その2 西宮を 教育と文化のかおり高いまちにしましょう

その3 西宮を 心のかよった福祉のまちにしましょう

その4 西宮を 希望にみちた産業のまちにしましょう

その5 西宮を 心身ともに健やかなしあわせのまちにしましょう

はじめに



西宮市長
石井登志郎

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、国内で初めて感染者が確認されてから2年を経過しました。ワクチン接種の進展や変異株の出現など状況は刻々と変化していますが、引き続き我々の生活は大きな影響を受けています。長期休み明けの学校の再開の判断や緊急事態宣言に伴う外出自粛要請とその解除など、様々な社会活動が制限されては、状況を注視しながらその解除の判断をするという、我々がこれまでに経験したことのない状況に直面しました。

この新型コロナウイルス感染症への対応を通じて、感染者数の増減、重症化率の推移など日々状況が変化していく中で、市民の皆様がどのようなご意見を持ち、どのような情報を求めているかを把握し、これらに的確に対応し、伝えるために情報発信すること、いわゆる「広聴」と「広報」の連携の重要性を改めて認識したところです。

また、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、対面での対話の場を設けることが難しい状況の中、安全を最優先し、今年度は残念ながら市政報告広聴会の開催を見送りました。

昭和29年（1954年）から継続して実施しております「市民意識調査」は、市政に対する市民の意識を把握するための重要な広聴事業のひとつです。

今年度は、「新型コロナウイルス感染症の市民生活への影響について」、「『宮っ子』について」、「『こども未来センター』について」の3テーマについて調査を実施しました。ここにまとめました調査結果から、皆様の意識・ニーズを的確に把握し、市民満足度の高い行政運営を進めてまいります。

結びに、本調査にご協力いただきました市民の皆様、ならびに調査結果の分析をご指導いただきました関西学院大学政治行動研究センター・善教将大教授、関西学院大学・森脇俊雅名誉教授をはじめ、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和4年（2022年）2月

目 次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の設計	1
①	調査内容	1
②	調査方法	2
3.	回収結果	2
II	配布・回収結果	3
III	調査の結果	11
	新型コロナウイルス感染症の市民生活への影響について	11
	施策に向けての一言〈新型コロナウイルス感染症の市民生活への影響について〉	26
	『宮っ子』について	27
	施策に向けての一言〈『宮っ子』について〉	40
	『こども未来センター』について	41
	施策に向けての一言〈『こども未来センター』について〉	54
IV	自由意見	55
V	使用した調査票	61

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市政に対する市民の意識とその動向を把握するとともに、積極的に「市民の声」を聴き、今後の施策策定並びに市政運営上の基礎資料とするため、毎年実施している。

2. 調査の設計

① 調査内容

回答者の属性 (フェイスシート)	問 1 居住するコミュニティ	問 6-1 子どもの年齢
	問 2 性別	問 7 住まいの種別
	問 3 年齢	問 8 市内居住年数
	問 4 職業	問 9 現住所居住年数
	問 5 同居家族の人数	問 10 暮らし向き
	問 6 同居家族の構成	
新型コロナウイルス感染症の市民生活への影響について	問 11 新型コロナウイルス感染症による暮らし向きの変化 問 12 長引くコロナ禍における困りごと・心配ごと 問 13 新型コロナウイルス感染症が続いた場合に実施してほしい施策 問 14 新型コロナウイルス感染症の収束後、したいこと	
『宮っ子』について	問 15 自宅への『宮っ子』の配布状況 問 16 『宮っ子』を読む頻度 問 17 『宮っ子』を読む理由 問 18 『宮っ子』を読まない理由 問 19 『宮っ子』の企画・編集への参加意向 問 20 WEB版の『宮っ子』の認知度・閲覧経験 問 21 『宮っ子』を読むための理想の媒体	
『こども未来センター』について	問 22 『こども未来センター』の認知度 問 23 『こども未来センター』の利用経験 問 24 利用したことのある支援内容 問 25 『こども未来センター』を利用したことがない理由 問 26 子育てに悩んだ経験の有無 問 27 子育ての悩みの内容 問 28 子育ての相談の有無、解決状況 問 29 障害がある子ども達への支援について大切だと思うこと 問 30 より利用しやすい施設になるためにすべきこと	
自由意見（記述式）		

※本報告書では、問 11～30 を分析対象とした。問 1～10 は「属性別回収結果」として全体値のグラフを掲載している。

② 調査方法

調査地域：市内全域

調査対象：令和3年（2021年）8月1日現在の住民基本台帳に登録されている18歳以上の市民（外国人住民含む）

抽出方法：系統的無作為抽出（コンピューターによる等間隔抽出）

配布数：3,500

調査方法：郵送法（調査票の配布・回収はすべて郵送による）

調査期間：令和3年（2021年）9月1日～9月30日

3. 回収結果

調査対象者数：3,500（昨年度 3,500）

回収数：2,019（昨年度 1,915）

有効回収数：2,019（昨年度 1,915）

有効回収率：57.7%（昨年度 54.7%）

※有効回収数とは、回収数から白票などの無効票を除いた数

Ⅱ 配布・回収結果

- アンケート配布・回収結果における回答数 n (number of cases の略) は、設問に対する有効回答者数を意味している。
- 各選択肢の構成比 (%) は、小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、構成比の合計が 100%にならない場合がある。
- 凡例における「無回答」には、択一式の設問に対して複数回答している場合など、回答はあるが無効となったものも含んでいる。

II 配布・回収結果

■西宮市地域コミュニティ 町別エリア一覧と回収結果



コミュニティ	調査対象者数 (A)	有効回収数 (B)	有効回収率 (B/A)
平木	60	31	51.7%
広田	115	56	48.7%
上ヶ原	157	86	54.8%
甲東1	109	63	57.8%
甲東2	202	121	59.9%
北口	175	107	61.1%
瓦木	173	91	52.6%
甲子園口	90	49	54.4%
鳴尾1	224	120	53.6%
鳴尾2	325	176	54.2%
鳴尾3	140	63	45.0%
名塩	132	77	58.3%
生瀬	64	41	64.1%
山口	122	63	51.6%



コミュニティ	調査対象者数 (A)	有効回収数 (B)	有効回収率 (B/A)
香櫛園	93	60	64.5%
浜脇	212	108	50.9%
用海	90	50	55.6%
津門	105	54	51.4%
春風	110	61	55.5%
今津	111	53	47.7%
夙川	83	44	53.0%
越木岩	136	69	50.7%
苦楽園	56	26	46.4%
安井	88	46	52.3%
大社	97	57	58.8%
神原	66	38	57.6%
甲陽	119	65	54.6%
芦原	46	21	45.7%

※コミュニティ不明：123人

■年代別回収結果

	調査 対象者数 (A)	有効 回収数 (B)	有効 回収率 (B/A)
総数	3,500	2,019	57.7%
18～19歳	95	33	34.7%
20～29歳	378	142	37.6%
30～39歳	483	252	52.2%
40～49歳	665	345	51.9%
50～59歳	586	360	61.4%
60～69歳	468	341	72.9%
70～79歳	495	369	74.5%
80歳以上	330	170	51.5%
不明	-	7	-

■性別・年代別回収結果

男性	調査 対象者数 (A)	有効 回収数 (B)	有効 回収率 (B/A)	女性	調査 対象者数 (A)	有効 回収数 (B)	有効 回収率 (B/A)
総数	1,611	759	47.1%	総数	1,889	1,147	60.7%
18～19歳	39	16	41.0%	18～19歳	56	16	28.6%
20～29歳	183	52	28.4%	20～29歳	195	82	42.1%
30～39歳	212	79	37.3%	30～39歳	271	160	59.0%
40～49歳	318	119	37.4%	40～49歳	347	196	56.5%
50～59歳	294	140	47.6%	50～59歳	292	207	70.9%
60～69歳	220	137	62.3%	60～69歳	248	186	75.0%
70～79歳	221	149	67.4%	70～79歳	274	206	75.2%
80歳以上	124	67	54.0%	80歳以上	206	91	44.2%
不明	-	-	-	不明	-	3	-

	性別	
	その他	無回答
総数	3	110
18～19歳	-	1
20～29歳	-	8
30～39歳	-	13
40～49歳	1	29
50～59歳	-	13
60～69歳	-	18
70～79歳	-	14
80歳以上	-	12
不明	2	2

■属性別回収結果（性・年代以外は、n=2,019）

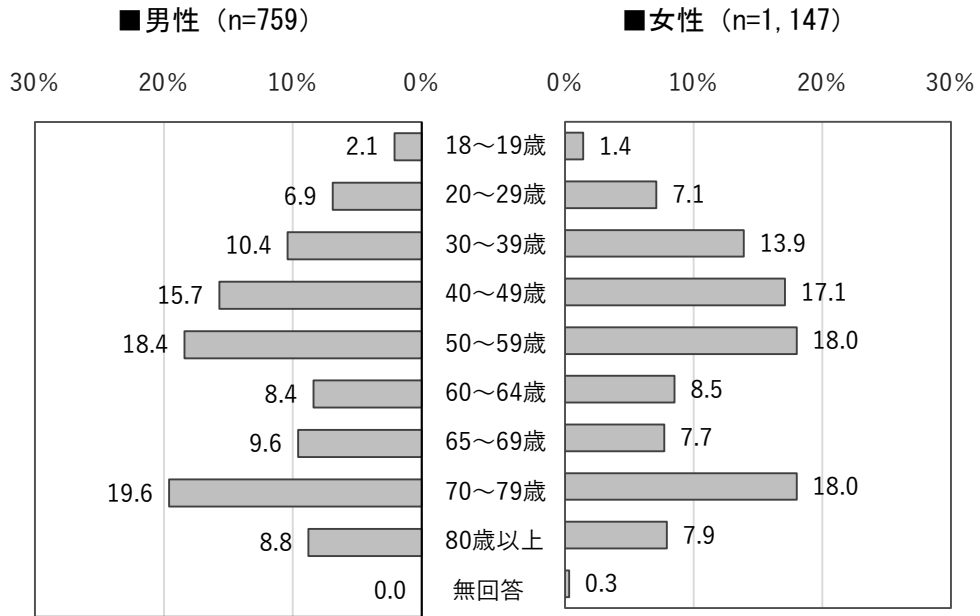
●コミュニティ

コミュニティ	%
香櫨園	3.0
浜脇	5.3
用海	2.5
津門	2.7
春風	3.0
今津	2.6
夙川	2.2
越木岩	3.4
苔楽園	1.3
安井	2.3

コミュニティ	%
大社	2.8
神原	1.9
甲陽	3.2
芦原	1.0
平木	1.5
広田	2.8
上ヶ原	4.3
甲東1	3.1
甲東2	6.0
北口	5.3

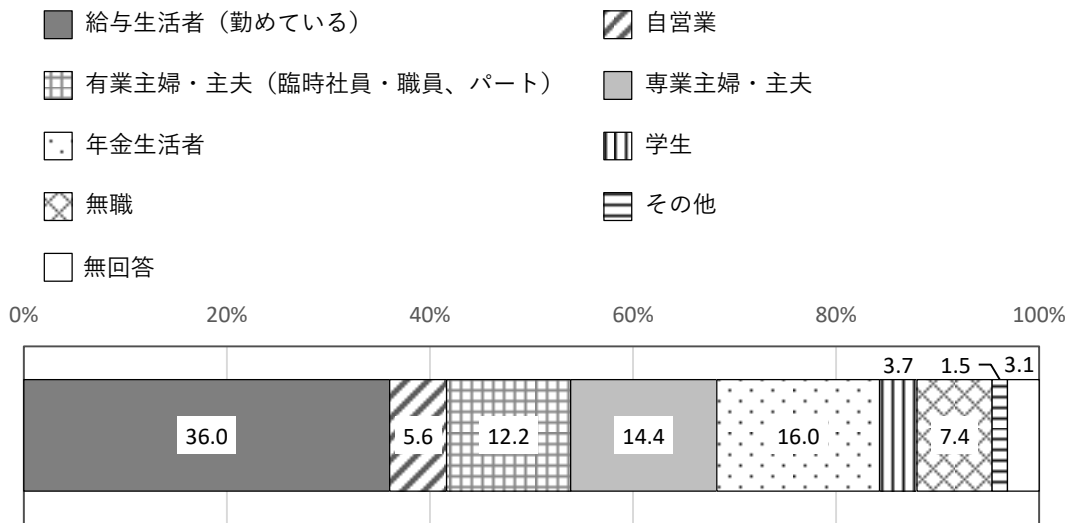
コミュニティ	%
瓦木	4.5
甲子園口	2.4
鳴尾1	5.9
鳴尾2	8.7
鳴尾3	3.1
名塩	3.8
生瀬	2.0
山口	3.1
無回答	6.1
合計	100.0

●性・年代



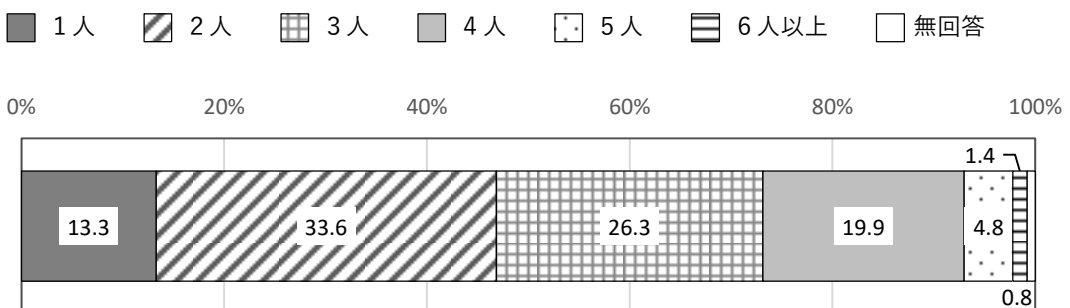
●職業

(n=2,019)



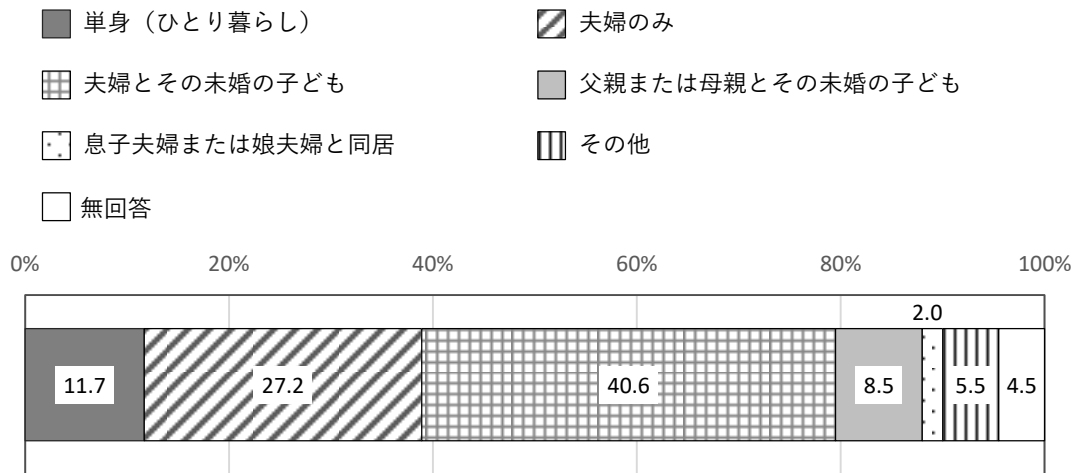
●同居家族人数

(n=2,019)



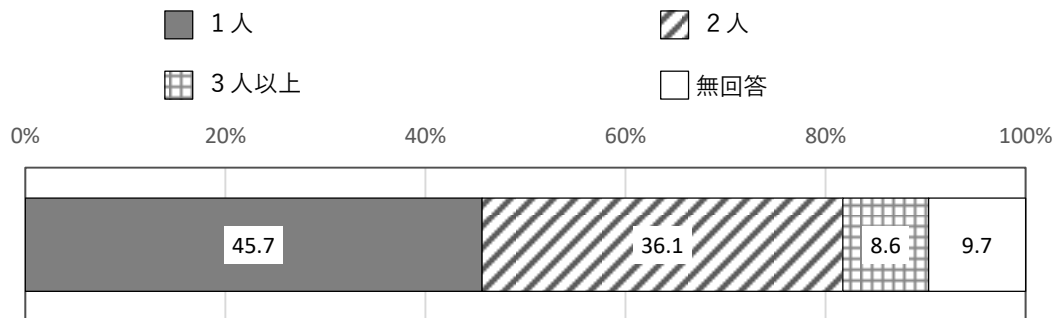
●同居家族構成

(n=2,019)



●子どもの人数 (※同居家族構成で「夫婦とその未婚の子ども」「父親または母親とその未婚の子ども」と答えた方のみ)

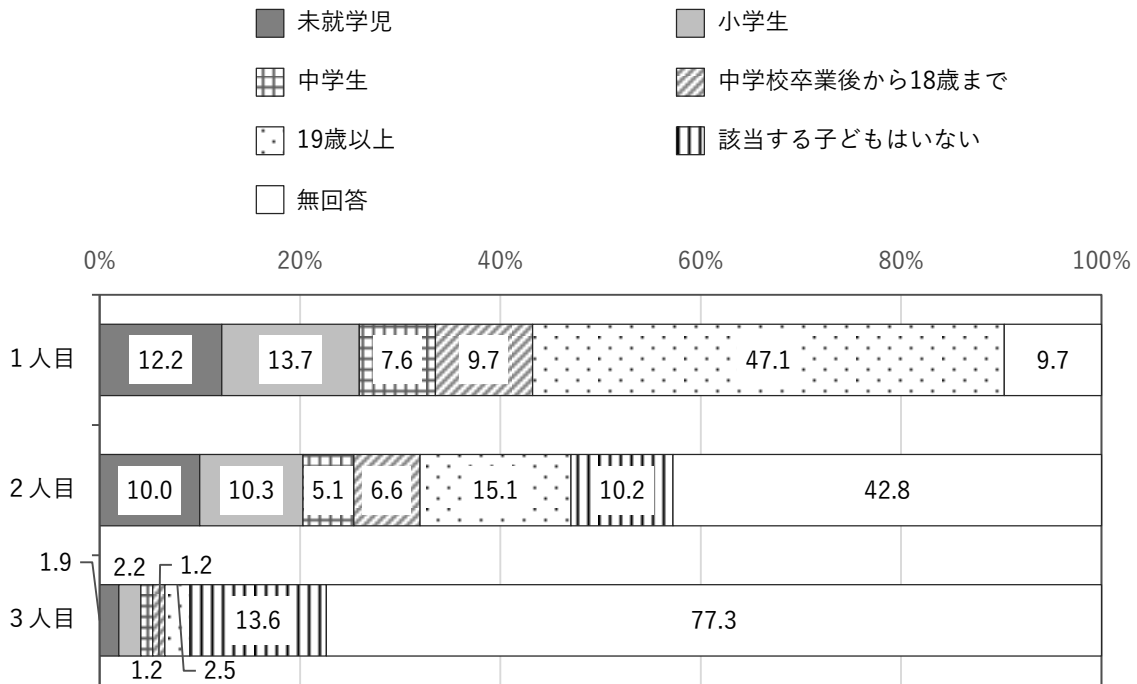
(n=990)



※子どもの年齢の回答結果より分類

●子どもの年齢（※同居家族構成で「夫婦とその未婚の子ども」「父親または母親とその未婚の子ども」と答えた方のみ）

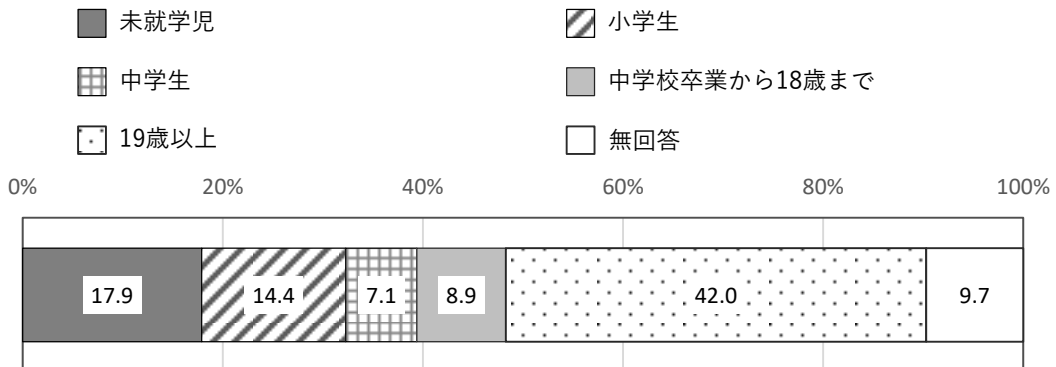
(n=990)



※1人目のみ「該当する子どもはいない」の選択肢は除外されている

●一番下の子どもの年齢（※同居家族構成で「夫婦とその未婚の子ども」「父親または母親とその未婚の子ども」と答えた方のみ）

(n=990)

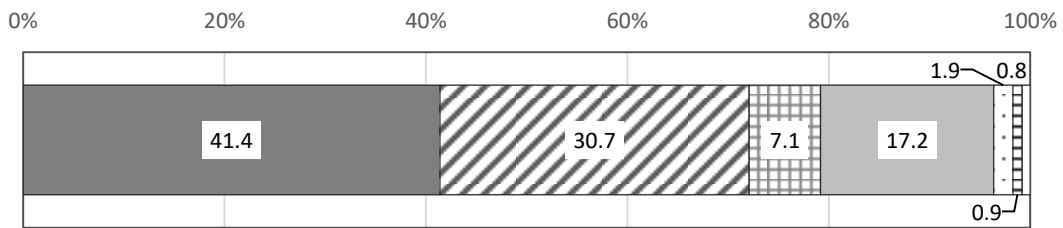


※子どもの年齢の回答結果より分類

●住まいの種別

(n=2,019)

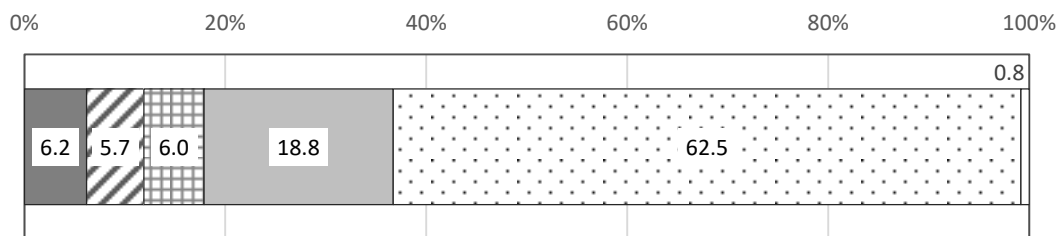
- 持ち家（一戸建て・長屋建て）
- ▨ 持ち家（マンションなどの集合住宅）
- ▩ 公営・公社・都市再生機構（UR）などの賃貸住宅
- 民間の賃貸住宅・マンション、間借り
- ◻ 社宅・寮など
- ≡ その他
- 無回答



●市内居住年数

(n=2,019)

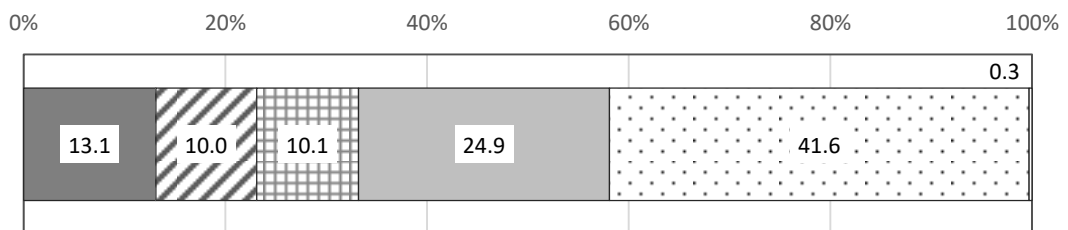
- 3年未満
- ▨ 3年以上～6年未満
- ▩ 6年以上～10年未満
- 10年以上～20年未満
- ◻ 20年以上
- 無回答



●現住所居住年数

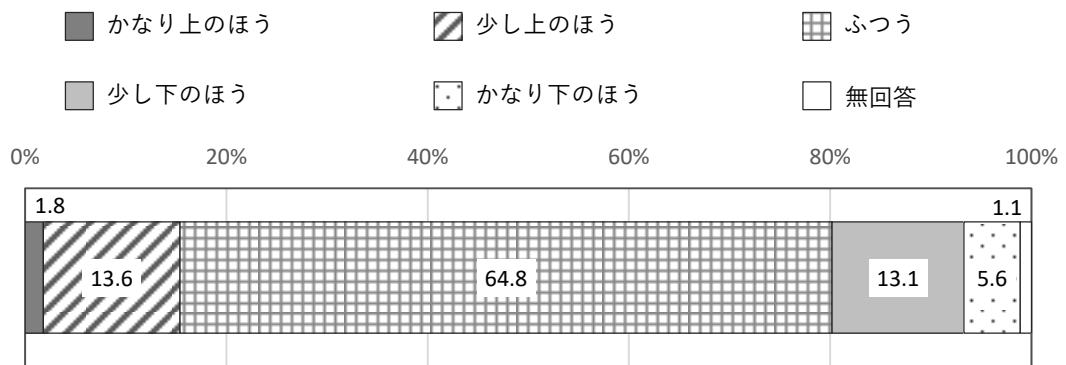
(n=2,019)

- 3年未満
- ▨ 3年以上～6年未満
- ▩ 6年以上～10年未満
- 10年以上～20年未満
- ◻ 20年以上
- 無回答



●暮らし向き

(n=2,019)



Ⅲ 調査の結果

- アンケート配布・回収結果における回答数 n (number of cases の略) は、設問に対する有効回答者数を意味している。
- 各選択肢の構成比 (%) は、小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、構成比の合計が 100%にならない場合がある。
- クロス集計結果は全て横%表で示している。
- 複数回答が可能な設問の場合、選択肢の構成比の合計が 100%を超える場合がある。
- 表については、報告書内で注目している箇所に ■■■ で網かけをしている。
- 凡例における「無回答」には、択一式の設問に対して複数回答している場合など、回答はあるが無効となったものも含んでいる。
- 〈施策に向けての一言〉は、関西学院大学政治行動研究センター・善教将大教授によるものである。

Ⅲ 調査の結果

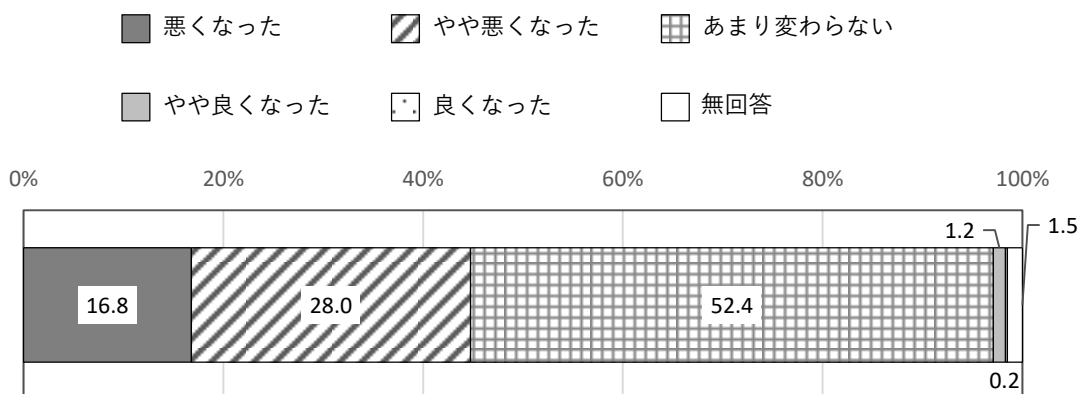
新型コロナウイルス感染症の市民生活への影響について

新型コロナウイルス感染症の拡大により、市民の皆さまの生活がどのような影響を受け、また、どのような支援を必要としているか等を把握し、今後の施策につなげたいと考えています。

問 11. 新型コロナウイルス感染症の流行・拡大前の 2019 年時点と比べて、暮らし向きに変化はありましたか。(1 つ選んで○)

- 新型コロナウイルス感染症の流行による暮らし向きの変化については、「あまり変わらない」が 52.4%と最も高くなっている。
- 「悪くなった」・「やや悪くなった」を合わせた割合は 44.8%と、4割を超える方がコロナウイルスにより暮らし向きが悪くなったと回答している。
- 家庭の暮らし向き別にみると、『かなり下のほう』で「悪くなった」が 54.4%と半数を超えており、全体より 37.6 ポイント高くなっている。
- 家族構成別にみると、『父親または母親とその未婚の子ども』で「悪くなった」・「やや悪くなった」を合わせた割合が 55.5%と半数を超える結果となっている。
- 職業別にみると、「悪くなった」・「やや悪くなった」を合わせた割合が『自営業』で 62.8%、『学生』で 58.6%と、ともに6割程度を占め高くなっている。

(n=2,019)



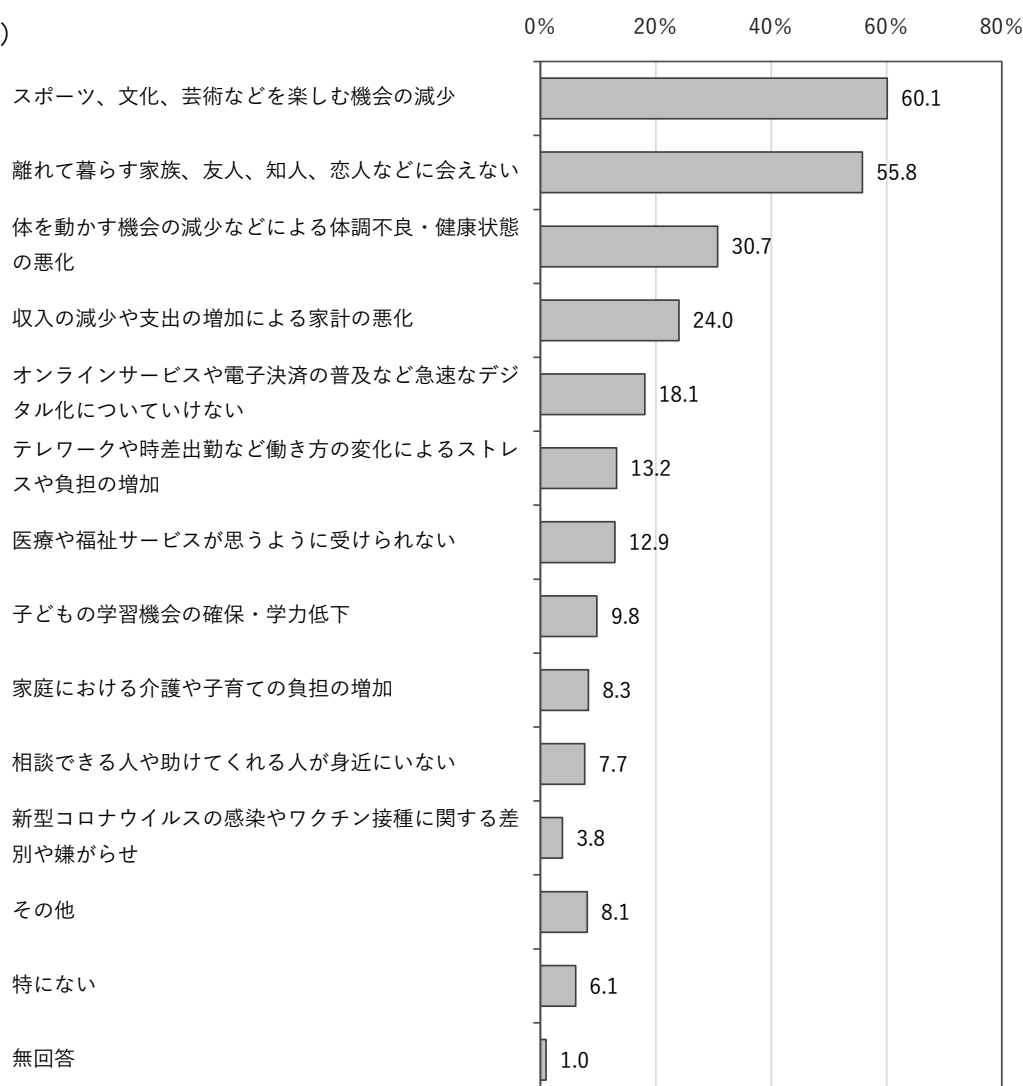
■家庭の暮らし向き・家族構成・職業別 新型コロナウイルス感染症の流行による暮らし向きの変化 単位：%

		n (人)	悪くなった	やや悪くなった	あまり変わらない	やや良くなった	良くなった	無回答
全 体		2,019	16.8	28.0	52.4	1.2	0.2	1.5
家庭の暮らし向き別	かなり上のほう	37	8.1	10.8	78.4	2.7	0.0	0.0
	少し上のほう	274	8.4	23.7	63.9	2.2	0.4	1.5
	ふつう	1,308	13.2	28.8	55.3	1.1	0.2	1.4
	少し下のほう	264	27.7	34.1	36.0	0.4	0.4	1.5
	かなり下のほう	114	54.4	19.3	22.8	0.9	0.0	2.6
家族構成別	単身（ひとり暮らし）	237	24.1	21.5	49.8	2.1	0.0	2.5
	夫婦のみ	549	13.8	26.8	56.3	0.7	0.5	1.8
	夫婦とその未婚の子ども	819	13.8	30.2	53.8	1.2	0.1	0.9
	父親または母親とその未婚の子ども	171	26.3	29.2	42.7	0.6	0.0	1.2
	息子夫婦または娘夫婦と同居	41	17.1	29.3	51.2	0.0	0.0	2.4
職業別	給与生活者	727	13.8	27.9	55.3	2.1	0.3	0.7
	自営業	113	32.7	30.1	33.6	2.7	0.0	0.9
	有業主婦・主夫	246	13.8	34.1	50.4	0.8	0.4	0.4
	専業主婦・主夫	291	14.1	25.4	58.1	0.7	0.3	1.4
	年金生活者	324	18.2	23.5	55.2	0.0	0.0	3.1
	学生	75	25.3	33.3	41.3	0.0	0.0	0.0
	無職	149	19.5	26.2	50.3	0.0	0.0	4.0

問 12. 長引くコロナ禍において、現在困っていることや心配に感じていることはありますか。
 (あてはまるものをすべて選んで○)

- コロナ禍において現在困っていることや心配に感じていることについては、「スポーツ、文化、芸術などを楽しむ機会の減少」が60.1%と最も高く、次いで「離れて暮らす家族、友人、知人、恋人などに会えない」(55.8%)、「体を動かす機会の減少などによる体調不良・健康状態の悪化」(30.7%)となっている。
- 年齢(4区分)別にみると、『30~49歳』で「子どもの学習機会の確保・学力低下」、『65歳以上』で「オンラインサービスや電子決済の普及などの急速なデジタル化についていけない」が、それぞれ全体より10ポイント程度高くなっている。
- 家族構成別にみると、『夫婦とその未婚の子ども』で「子どもの学習機会の確保・学力低下」、『父親または母親とその未婚の子ども』で「収入の減少や支出の増加による家計の悪化」が、それぞれ全体より10ポイント程度高くなっている。
- 家庭の暮らし向き別にみると、暮らし向きが下がるにつれて「収入の減少や支出の増加による家計の悪化」・「相談できる人や助けてくれる人が身近にいない」が高くなる傾向がみられる。
- 職業別にみると、『自営業』で「収入の減少や支出の増加による家計の悪化」が全体より24.7ポイント高くなっている。また、『学生』で「新型コロナウイルスの感染やワクチン接種に関する差別や嫌がらせ」が14.7%と全体より10.9ポイント高くなっている。

(n=2,019)



■年齢（4区分）別 コロナ禍において現在困っていることや心配に感じていること

単位：%

	n (人)	収入の減少や支出の増加による 家計の悪化	相談できる人や助けてくれる人 が身近にいない	医療や福祉サービスが思うよう に受けられない	体を動かす機会の減少などによ る体調不良・健康状態の悪化	テレワークや時差出勤など働き 方の変化によるストレスや負担 の増加	家庭における介護や子育ての負 担の増加	子どもの学習機会の確保・学力低 下	離れて暮らす家族、友人、知人、 恋人などに会えない	オンラインサービスや電子決済 の普及などの急速なデジタル化 についていけない
全 体	2,019	24.0	7.7	12.9	30.7	13.2	8.3	9.8	55.8	18.1
18～29 歳	175	26.3	8.0	11.4	24.0	16.6	4.0	8.0	51.4	4.0
30～49 歳	597	28.6	6.9	13.6	28.6	15.9	15.9	20.1	58.8	8.0
50～64 歳	533	27.0	8.8	16.3	30.6	22.0	6.9	11.1	56.7	18.8
65 歳以上	707	17.3	7.4	10.0	34.1	3.4	3.8	0.7	53.5	29.7
	n (人)	スポーツ、文化、芸術などを楽し む機会の減少	新型コロナウイルスの感染やワ クチン接種に関する差別や嫌が らせ	その他	特 に な い	無 回 答				
全 体	2,019	60.1	3.8	8.1	6.1	1.0				
18～29 歳	175	64.0	9.1	9.7	3.4	0.6				
30～49 歳	597	63.5	5.0	10.9	5.9	0.7				
50～64 歳	533	61.7	3.9	6.9	5.3	0.8				
65 歳以上	707	54.7	1.3	6.2	7.8	1.6				

■家族構成別 コロナ禍において現在困っていることや心配に感じていること

単位：%

	n (人)	収入の減少や支出の増加による 家計の悪化	相談できる人や助けてくれる人 が身近にいない	医療や福祉サービスが思うよう に受けられない	体を動かす機会の減少などによ る体調不良・健康状態の悪化	テレワークや時差出勤など働き 方の変化によるストレスや負担 の増加	家庭における介護や子育ての負 担の増加	子どもの学習機会の確保・学力低 下
全 体	2,019	24.0	7.7	12.9	30.7	13.2	8.3	9.8
単身（ひとり暮らし）	237	27.4	13.9	9.7	32.5	11.4	2.5	1.3
夫婦のみ	549	15.7	6.4	14.6	32.6	9.5	2.9	0.5
夫婦とその未婚の子ども	819	26.4	7.2	13.9	28.4	17.3	14.2	20.1
父親または母親とその未婚の 子ども	171	35.7	4.1	9.9	30.4	17.0	6.4	11.7
息子夫婦または娘夫婦と同居	41	24.4	0.0	4.9	36.6	2.4	12.2	4.9
	n (人)	離れて暮らす家族、友人、知人、 恋人などに会えない	オンラインサービスや電子決済 の普及などの急速なデジタル化 についていけない	スポーツ、文化、芸術などを楽し む機会の減少	新型コロナウイルスの感染やワ クチン接種に関する差別や嫌が らせ	その他	特にな い	無回 答
全 体	2,019	55.8	18.1	60.1	3.8	8.1	6.1	1.0
単身（ひとり暮らし）	237	50.2	24.9	56.1	3.4	5.9	8.0	1.3
夫婦のみ	549	61.7	21.9	60.5	2.9	8.2	4.9	0.9
夫婦とその未婚の子ども	819	59.6	13.3	65.2	4.6	9.4	5.3	0.4
父親または母親とその未婚の 子ども	171	52.6	17.0	55.6	1.8	8.8	4.1	1.2
息子夫婦または娘夫婦と同居	41	36.6	22.0	41.5	0.0	2.4	14.6	0.0

■家庭の暮らし向き別 コロナ禍において現在困っていることや心配に感じていること

単位：%

	n (人)	収入の減少や支出の増加による 家計の悪化	相談できる人や助けてくれる人 が身近にいない	医療や福祉サービスが思うよう に受けられない	体を動かす機会の減少などに よる体調不良・健康状態の悪化	テレワークや時差出勤など働き 方の変化によるストレスや負担 の増加	家庭における介護や子育ての負 担の増加	子どもの学習機会の確保・学力低 下	離れて暮らす家族、友人、知人、 恋人などに会えない	オンラインサービスや電子決済 の普及などの急速なデジタル化 についていけない
全 体	2,019	24.0	7.7	12.9	30.7	13.2	8.3	9.8	55.8	18.1
かなり上のほう	37	5.4	0.0	13.5	24.3	8.1	2.7	2.7	45.9	8.1
少し上のほう	274	9.5	4.4	11.3	25.5	16.8	8.0	10.9	58.4	10.9
ふつう	1,308	20.0	6.6	13.1	31.5	14.4	8.5	10.5	57.1	17.9
少し下のほう	264	46.2	11.7	12.1	33.0	6.8	7.6	8.7	55.3	24.6
かなり下のほう	114	61.4	21.1	18.4	33.3	6.1	10.5	4.4	38.6	26.3
	n (人)	スポーツ、文化、芸術などを楽し む機会の減少	新型コロナウイルスの感染やワ クチン接種に関する差別や嫌が らせ	その他	特 に な い	無 回 答				
全 体	2,019	60.1	3.8	8.1	6.1	1.0				
かなり上のほう	37	67.6	2.7	2.7	8.1	0.0				
少し上のほう	274	70.8	3.6	10.9	6.9	0.7				
ふつう	1,308	61.2	4.1	8.0	6.7	0.8				
少し下のほう	264	50.8	3.0	6.8	3.8	0.8				
かなり下のほう	114	43.0	2.6	8.8	3.5	1.8				

■職業別 コロナ禍において現在困っていることや心配に感じていること

単位：%

	n (人)	収入の減少や支出の増加による家計の悪化	相談できる人や助けてくれる人が身近にいない	医療や福祉サービスが思うように受けられない	体を動かす機会の減少などによる体調不良・健康状態の悪化	テレワークや時差出勤など働き方の変化によるストレスや負担の増加	家庭における介護や子育ての負担の増加	子どもの学習機会の確保・学力低下	離れて暮らす家族、友人、知人、恋人などに会えない	オンラインサービスや電子決済の普及などの急速なデジタル化についていけない
全 体	2,019	24.0	7.7	12.9	30.7	13.2	8.3	9.8	55.8	18.1
給与生活者	727	22.8	7.4	13.1	28.7	20.1	9.1	13.6	55.0	8.4
自営業	113	48.7	8.0	14.2	30.1	11.5	9.7	10.6	45.1	18.6
有業主婦・主夫	246	32.1	5.3	16.3	24.4	17.1	7.3	16.3	66.7	21.1
専業主婦・主夫	291	18.2	7.9	13.1	32.3	11.0	14.4	9.3	63.6	22.3
年金生活者	324	15.1	9.3	12.3	39.5	1.9	6.2	1.2	55.2	30.2
学生	75	30.7	5.3	6.7	24.0	22.7	2.7	14.7	42.7	5.3
無職	149	23.5	9.4	12.8	36.2	4.7	3.4	2.0	43.6	23.5
	n (人)	スポーツ、文化、芸術などを楽しむ機会の減少	新型コロナウイルスの感染やワクチン接種に関する差別や嫌がらせ	その他	特にない	無回答				
全 体	2,019	60.1	3.8	8.1	6.1	1.0				
給与生活者	727	63.4	4.5	7.3	5.9	0.7				
自営業	113	61.1	1.8	8.8	7.1	1.8				
有業主婦・主夫	246	61.4	4.9	13.0	4.5	0.4				
専業主婦・主夫	291	63.2	3.1	6.9	6.9	0.7				
年金生活者	324	51.9	1.5	6.2	8.3	1.9				
学生	75	72.0	14.7	12.0	1.3	0.0				
無職	149	43.6	2.7	5.4	6.7	2.7				

問 13. 今後も新型コロナウイルス感染症による日常生活への影響が続いた場合に、重点的に実施してほしい施策はありますか。(あてはまるものをすべて選んで○)

- 新型コロナウイルス感染症による日常生活への影響が続いた場合、重点的に実施してほしい施策については、「安定した医療・福祉サービスの確保」が53.1%と最も高くなっており、次いで「迅速なコロナワクチン接種」(52.9%)、「コロナに関する各種情報の迅速かつ幅広い発信」(40.0%)となっている。
- 年齢(4区分)別にみると、『30～49歳』で「小学生・中学生への学習等支援」、『65歳以上』で「フレイル予防など日々の健康を維持するための取組・支援」が、それぞれ全体より10ポイント程度高くなっている。
- 家族構成別にみると、『夫婦とその未婚の子ども』で「小学生・中学生への学習等支援」、『父親または母親とその未婚の子ども』で「生活困窮者への経済的支援」が、それぞれ全体より10ポイント程度高くなっている。
- 家庭の暮らし向き別にみると、『かなり下のほう』で「生活困窮者への経済的支援」が66.7%と、全体より37.8ポイント高くなっている。
- 職業別にみると、『自営業』で「打撃を受けている中小企業や自営業者への支援」が56.6%と、全体より27.1ポイント高くなっている。また、『無職』で「生活困窮者への経済的支援」、『学生』で「スポーツや文化・芸術活動への支援」が、それぞれ全体より10ポイント程度高くなっている。

(n=2,019)



※フレイルとは、年をとって筋力や認知機能、社会とのつながりなどが低下した状態のこと

■年齢(4区分)別 新型コロナウイルス感染症による日常生活への影響が続いた場合、重点的に実施してほしい施策

単位：%

	n (人)	迅速なコロナワクチン接種	接触機会の低減、飛沫防止、消毒の徹底など感染拡大防止に係る取組	コロナに関する各種情報の迅速かつ幅広い発信	打撃を受けている中小企業や自営業者への支援	市内商業施設、商店などの消費喚起	失業や就職難などに対する雇用対策	生活困窮者への経済的支援	安定した医療・福祉サービスの確保	フレイル予防など日々の健康を維持するための取組・支援
全 体	2,019	52.9	32.8	40.0	29.5	14.6	23.3	28.9	53.1	22.9
18～29 歳	175	48.6	28.0	32.6	29.1	9.7	21.7	28.0	42.3	11.4
30～49 歳	597	49.7	34.8	34.8	29.6	15.1	24.3	24.6	50.4	12.4
50～64 歳	533	55.7	34.1	43.2	30.4	15.6	28.0	28.1	58.5	23.6
65 歳以上	707	54.3	31.3	43.7	28.9	14.7	19.5	33.0	53.9	34.2
	n (人)	小学生・中学生への学習等支援	市民活動・地域活動への支援	スポーツや文化・芸術活動への支援	その他	特にない	無回答			
全 体	2,019	21.5	9.7	19.3	4.6	3.6	1.4			
18～29 歳	175	18.3	8.0	24.0	5.7	5.1	0.6			
30～49 歳	597	36.5	9.5	21.9	7.0	3.0	0.3			
50～64 歳	533	16.7	9.0	19.5	5.1	2.8	0.2			
65 歳以上	707	13.0	10.6	15.7	2.0	4.2	3.4			

■家族構成別 新型コロナウイルス感染症による日常生活への影響が続いた場合、重点的に実施してほしい施策

単位：%

	n (人)	迅速なコロナワクチン接種	接触機会の低減、飛沫防止、消毒の徹底など感染拡大防止に係る取組	コロナに関する各種情報の迅速かつ幅広い発信	打撃を受けている中小企業や自営業者への支援	市内商業施設、商店などの消費喚起	失業や就職難などに対する雇用対策	生活困窮者への経済的支援	安定した医療・福祉サービスの確保
全 体	2,019	52.9	32.8	40.0	29.5	14.6	23.3	28.9	53.1
単身（ひとり暮らし）	237	44.7	28.7	38.4	29.5	12.2	26.6	33.3	47.7
夫婦のみ	549	57.4	34.1	43.2	28.8	15.3	21.5	28.4	56.8
夫婦とその未婚の子ども	819	53.5	32.6	38.5	29.2	14.7	23.2	25.4	55.4
父親または母親とその未婚の子ども	171	50.3	32.7	39.2	32.2	14.6	29.8	40.4	48.0
息子夫婦または娘夫婦と同居	41	56.1	36.6	46.3	36.6	12.2	14.6	31.7	43.9
	n (人)	フレイル予防など日々の健康を維持するための取組・支援	小学生・中学生への学習等支援	市民活動・地域活動への支援	スポーツや文化・芸術活動への支援	その他	特にない	無回答	
全 体	2,019	22.9	21.5	9.7	19.3	4.6	3.6	1.4	
単身（ひとり暮らし）	237	27.4	10.5	7.6	20.7	4.2	4.6	3.0	
夫婦のみ	549	30.2	15.7	10.0	19.7	3.6	2.4	1.6	
夫婦とその未婚の子ども	819	15.5	31.9	11.4	21.9	5.5	3.2	0.4	
父親または母親とその未婚の子ども	171	23.4	18.7	8.2	17.0	4.7	4.7	0.6	
息子夫婦または娘夫婦と同居	41	26.8	14.6	12.2	4.9	0.0	4.9	2.4	

■家庭の暮らし向き別 新型コロナウイルス感染症による日常生活への影響が続いた場合、重点的に実施してほしい施策

単位：%

	n (人)	迅速なコロナワクチン接種	接触機会の低減、飛沫防止、消毒の徹底など感染拡大防止に係る取組	コロナに関する各種情報の迅速かつ幅広い発信	打撃を受けている中小企業や自営業者への支援	市内商業施設、商店などの消費喚起	失業や就職難などに対する雇用対策	生活困窮者への経済的支援	安定した医療・福祉サービスの確保	フレイル予防など日々の健康を維持するための取組・支援
全 体	2,019	52.9	32.8	40.0	29.5	14.6	23.3	28.9	53.1	22.9
かなり上のほう	37	59.5	24.3	21.6	21.6	8.1	10.8	18.9	45.9	18.9
少し上のほう	274	54.4	30.7	33.2	26.6	17.5	23.0	25.9	52.2	19.7
ふつう	1,308	54.9	32.9	40.8	29.9	14.3	21.4	23.9	55.1	22.3
少し下のほう	264	47.7	37.5	45.8	33.7	14.0	29.5	42.8	49.2	27.7
かなり下のほう	114	39.5	30.7	38.6	28.1	14.9	37.7	66.7	45.6	29.8
	n (人)	小学生・中学生への学習等支援	市民活動・地域活動への支援	スポーツや文化・芸術活動への支援	その他	特にない	無回答			
全 体	2,019	21.5	9.7	19.3	4.6	3.6	1.4			
かなり上のほう	37	24.3	2.7	24.3	2.7	5.4	0.0			
少し上のほう	274	27.0	9.5	25.9	5.1	2.2	0.4			
ふつう	1,308	21.7	10.0	19.3	4.7	4.1	1.2			
少し下のほう	264	18.2	8.7	15.9	4.2	3.4	1.1			
かなり下のほう	114	13.2	10.5	9.6	4.4	1.8	4.4			

■職業別 新型コロナウイルス感染症による日常生活への影響が続いた場合、重点的に実施してほしい施策

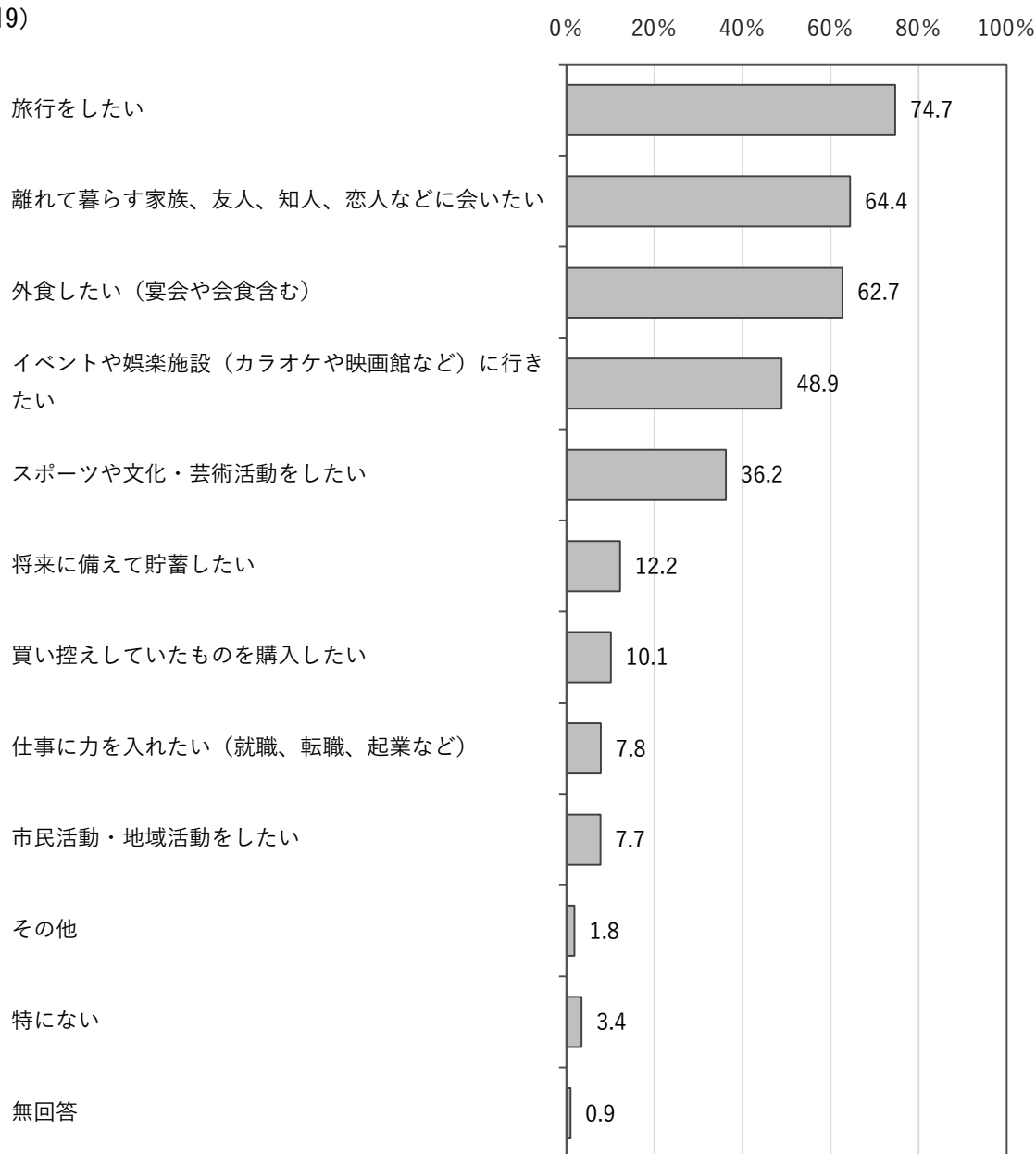
単位：%

	n (人)	迅速なコロナワクチン接種	接触機会の低減、飛沫防止、消毒の徹底など感染拡大防止に係る取組	コロナに関する各種情報の迅速かつ幅広い発信	打撃を受けている中小企業や自営業者への支援	市内商業施設、商店などの消費喚起	失業や就職難などに対する雇用対策	生活困窮者への経済的支援	安定した医療・福祉サービスの確保	フレイル予防など日々の健康を維持するための取組・支援
全 体	2,019	52.9	32.8	40.0	29.5	14.6	23.3	28.9	53.1	22.9
給与生活者	727	52.5	31.1	35.8	29.2	17.1	23.2	24.2	52.5	16.1
自営業	113	49.6	32.7	37.2	56.6	20.4	26.5	33.6	46.0	23.9
有業主婦・主夫	246	51.6	32.5	38.2	34.6	13.4	27.6	27.2	55.7	19.5
専業主婦・主夫	291	56.4	39.5	48.8	22.7	11.0	20.6	21.6	57.4	23.0
年金生活者	324	56.8	33.3	46.9	24.4	13.0	19.4	34.3	56.5	38.0
学生	75	41.3	28.0	32.0	29.3	9.3	22.7	34.7	42.7	13.3
無職	149	46.3	26.2	34.2	23.5	14.1	25.5	41.6	43.0	28.9
	n (人)	小学生・中学生への学習等支援	市民活動・地域活動への支援	スポーツや文化・芸術活動への支援	その他	特にない	無回答			
全 体	2,019	21.5	9.7	19.3	4.6	3.6	1.4			
給与生活者	727	25.7	8.8	20.6	5.2	3.4	0.4			
自営業	113	23.9	10.6	23.0	5.3	2.7	1.8			
有業主婦・主夫	246	25.2	7.3	22.8	4.5	2.4	0.8			
専業主婦・主夫	291	25.8	11.3	17.5	3.4	3.1	1.4			
年金生活者	324	10.8	11.4	13.6	3.1	4.9	3.1			
学生	75	21.3	10.7	33.3	6.7	8.0	0.0			
無職	149	10.7	8.7	13.4	2.0	3.4	4.0			

問 14. ワクチン接種が進み、新型コロナウイルス感染症が収束した後、何がしたいですか。
 (あてはまるものをすべて選んで○)

- 新型コロナウイルス感染症が収束した後、何がしたいかについては、「旅行をしたい」が74.7%と最も高く、次いで「離れて暮らす家族、友人、知人、恋人などに会いたい」(64.4%)、「外食したい(宴会や会食含む)」(62.7%)となっている。
- 年齢(4区分)別にみると、『18~29歳』で「イベントや娯楽施設(カラオケや映画館など)に行きたい」が68.6%と、全体より19.7ポイント高くなっている。
- 職業別にみると、『学生』で「イベントや娯楽施設(カラオケや映画館など)に行きたい」・「スポーツや文化・芸術活動をしたい」が、全体より20ポイント程度高くなっている。また、『自営業』で「仕事に力を入れたい(就職、転職、起業など)」が21.2%と、全体より13.4ポイント高くなっている。

(n=2,019)



■年齢（4区分）別 新型コロナウイルス感染症が収束した後、何がしたいか

単位：%

	n (人)	離れて暮らす家族、友人、知人、恋人などに会いたい	旅行をしたい	イベントや娯楽施設(カラオケや映画館など)に行きたい	外出したい(宴会や会食含む)	買い控えていたものを購入したい	スポーツや文化・芸術活動をした い	市民活動・地域活動をしたい	仕事に力を入れたい(就職、転職、起業など)	将来に備えて貯蓄したい
全 体	2,019	64.4	74.7	48.9	62.7	10.1	36.2	7.7	7.8	12.2
18～29 歳	175	55.4	81.7	68.6	66.3	14.3	46.9	5.1	10.9	20.6
30～49 歳	597	65.7	82.9	60.1	66.2	10.4	37.4	5.7	10.4	16.1
50～64 歳	533	65.7	80.7	52.5	68.5	9.2	41.8	8.1	9.9	12.6
65 歳以上	707	64.5	61.4	31.8	54.5	9.3	28.3	9.9	3.1	6.5
	n (人)	その他	特 に ない	無 回 答						
全 体	2,019	1.8	3.4	0.9						
18～29 歳	175	4.6	1.1	1.1						
30～49 歳	597	2.3	2.5	0.0						
50～64 歳	533	1.3	1.3	0.0						
65 歳以上	707	1.1	6.4	2.4						

■職業別 新型コロナウイルス感染症が収束した後、何がしたいか

単位：%

	n (人)	離れて暮らす家族、友人、知人、恋人などに会いたい	旅行をしたい	イベントや娯楽施設(カラオケや映画館など)に行きたい	外食したい(宴会や会食含む)	買い控えていたものを購入したい	スポーツや文化・芸術活動をした い	市民活動・地域活動をしたい	仕事に力を入れたい(就職、転職、起業など)	将来に備えて貯蓄したい
全 体	2,019	64.4	74.7	48.9	62.7	10.1	36.2	7.7	7.8	12.2
給与生活者	727	62.6	82.0	57.5	69.3	9.8	39.3	5.4	6.6	13.8
自営業	113	55.8	69.0	39.8	63.7	9.7	42.5	11.5	21.2	14.2
有業主婦・主夫	246	73.2	80.9	52.8	67.9	9.8	38.2	7.7	6.9	16.3
専業主婦・主夫	291	72.5	84.2	51.5	63.2	12.0	40.2	9.3	10.7	13.7
年金生活者	324	66.7	59.3	32.7	52.8	9.3	25.6	10.2	0.9	4.6
学生	75	46.7	78.7	70.7	58.7	16.0	57.3	6.7	8.0	18.7
無職	149	54.4	47.7	28.2	43.0	8.1	20.8	6.0	12.8	9.4
	n (人)	その他	特 に ない	無 回 答						
全 体	2,019	1.8	3.4	0.9						
給与生活者	727	1.4	1.7	0.4						
自営業	113	0.0	5.3	0.9						
有業主婦・主夫	246	2.4	2.8	0.0						
専業主婦・主夫	291	1.0	1.7	0.3						
年金生活者	324	2.2	8.6	1.5						
学生	75	4.0	1.3	1.3						
無職	149	2.7	5.4	4.7						

施策に向けての一言 <新型コロナウイルス感染症の市民生活への影響について>

新型コロナウイルス感染症（コロナ）の流行は、多くの西宮市民の生活に多大な影響を与えた。2021年末はワクチンを多くの人が2回接種したことにより、前年と比べるとコロナへの危機意識が薄れつつあるように思われる。しかし、2022年1月末時点ではオミクロン株が猛威を奮い、感染者が爆発的に増加している。新たな変異株の出現とその流行というサイクルがいつ収束するかは不確定であり、未だ予断を許さない状況が続いている。そのような状況下で、西宮市民のコロナに関する意識を調査し、行政に対するニーズを把握しておくことには、十分な意義がある。

まず、コロナ禍前と後で自身の暮らし向きがどのように変化したのかを調査した（問 11）。暮らし向きの変化に対する主観的な認識は、コロナの影響を把握するための一つの指標として有効である。結果を見ると暮らし向きについて「変わらない」と答えた人が52%であった。しかし「やや悪くなった」「悪くなった」と回答した人も45%と多い。特に「自営業者」がコロナの影響を受けており、自営業の回答者が「悪くなった」をより選択する傾向にあった。このように、職種あるいは業種によりコロナの影響力の大きさが異なる点には注意する必要がある。

コロナ禍で困っていることや心配に感じていることを調査した結果（問 12）を見ると、もっとも選択率が高かった項目は「スポーツ、文化、芸術などを楽しむ機会の減少（60%）」であり、次に高かった項目は「離れて暮らす家族、友人、知人、恋人などに会えない（56%）」であった。コロナの感染拡大を防ぐために他者との接触機会が抑制されたことを勘案すれば、妥当な結果といえる。なお「子どもの学習機会の確保・学力低下」は、全体としての選択率は相対的には低いですが、子育て世帯など、特定の人においては選択率が高くなる。コロナの影響だけではなく、ニーズについても属性などによって大きく変化する。

この傾向は、重点的に実施してほしい施策を尋ねた結果（問 13）からも、指摘することができる。全体として選択率が高い項目は、「安定した医療・福祉サービスの確保（53%）」、「迅速なコロナワクチン接種（53%）」、「コロナに関する各種情報の迅速かつ幅広い発信（40%）」である。

「小学生・中学生への学習等支援（22%）」の選択率は高くない。しかし30代や40代といった子育て世代における選択率は37%であり、低いとはいえない。行政がニーズを把握する際、全体の傾向に加えて、様々な属性と組み合わせた結果にも目配せしなければならないことを、これらの結果は示唆する。

コロナが収束した後にしたいことを尋ねた結果（問 14）では、「旅行をしたい（75%）」、「離れて暮らす家族、友人、知人、恋人などに会いたい（64%）」、「外食したい（63%）」といった項目の選択率が高い。コロナ禍では他者との接触機会が抑制されていたので、このような結果になったと考えられる。現状、十分にコロナが収束したと判断可能な状況になく、あくまでそのようになった上でだが、外食や旅行に対する補助について、積極的に議論あるいは検討すべきだろう。

（関西学院大学 善教将大）

『宮っ子』について

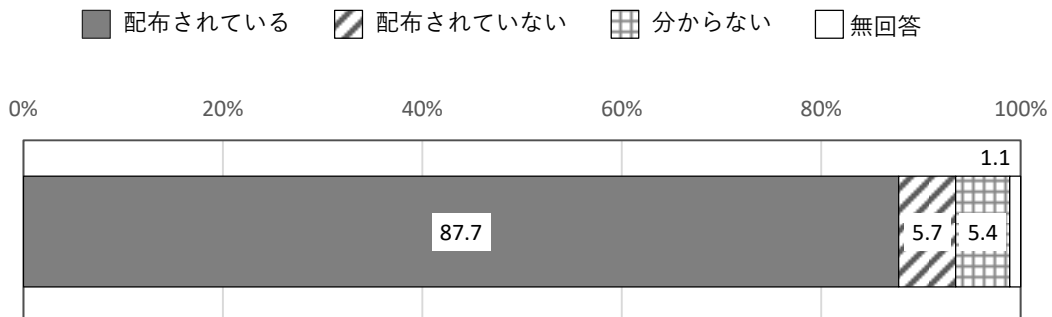
西宮コミュニティ協会は、地域コミュニティを推進するため地域情報誌『宮っ子』を発行しています。

『宮っ子』は、昭和54年（1979年）に創刊された地域情報誌で、企画、編集、配布を市民ボランティアが行っています。今後も『宮っ子』が市民に親しまれる地域情報誌であり続けるため、この調査結果を今後の誌面づくりなどの参考にしたいと考えています。

問 15. 『宮っ子』は自治会等の市民ボランティアにより各戸へ配布されていますが、自治会等が組織されていないなどの理由により『宮っ子』が配布されていない場合があります。あなたのご自宅へ『宮っ子』は配布されていますか。（1つ選んで○）

- 『宮っ子』の自宅への配布状況については、「配布されている」が87.7%となっている。
- 年齢（4区分）別にみると、『18～29歳』で「分からない」が23.4%と、全体より18.0ポイント高くなっている。
- 西宮市の居住年数別にみると、居住年数が短いほど「分からない」が高くなる傾向がみられる。
- 住まいの種別にみると、『民間の賃貸住宅・マンション、間借り』・『社宅・寮など』で「配布されていない」が全体より10ポイント程度高くなっている。

(n=2,019)



■年齢（4区分）別 『宮っ子』の自宅への配布状況

単位：%

	n (人)	配布されている	配布されていない	分からない	無回答
全 体	2,019	87.7	5.7	5.4	1.1
18～29 歳	175	70.9	5.7	23.4	0.0
30～49 歳	597	83.6	7.7	8.2	0.5
50～64 歳	533	90.8	6.0	2.3	0.9
65 歳以上	707	93.2	3.7	1.0	2.1

■西宮市の居住年数別・住まいの種別 『宮っ子』の自宅への配布状況

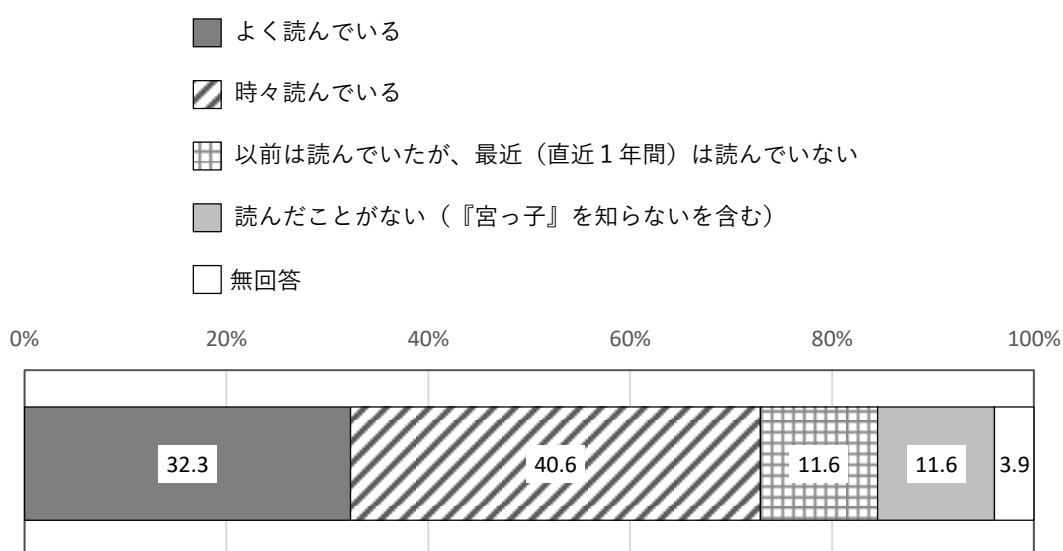
単位：%

		n (人)	配布されている	配布されていない	分からない	無回答
全 体		2,019	87.7	5.7	5.4	1.1
西宮市の居住年数別	3年未満	125	63.2	14.4	22.4	0.0
	3年以上～6年未満	115	76.5	7.8	13.9	1.7
	6年以上～10年未満	122	79.5	11.5	8.2	0.8
	10年以上～20年未満	380	89.5	4.2	6.3	0.0
	20年以上	1,261	91.7	4.4	2.3	1.6
住まいの種別	持ち家（一戸建て、長屋建て）	835	93.2	3.0	3.0	0.8
	持ち家（マンションなどの集合住宅）	620	93.5	3.2	2.3	1.0
	公営・公社・都市再生機構（UR）などの賃貸住宅	144	90.3	2.1	4.9	2.8
	民間の賃貸住宅・マンション、間借り	347	65.1	17.0	16.4	1.4
	社宅・寮など	38	68.4	18.4	13.2	0.0

問 16. あなたは『宮っ子』をどの程度お読みになっていますか。(1つ選んで○)

- 『宮っ子』を読む頻度については、「時々読んでいる」が40.6%と最も高く、「よく読んでいる」と合わせた割合は72.9%となっている。
- 年齢（4区分）別にみると、年齢区分が上がるにつれ、「よく読んでいる」割合が高くなる傾向がみられる。一方で、『18～29歳』では「読んだことがない（『宮っ子』を知らないを含む）」が44.6%と、全体より33.0ポイント高くなっている。
- 西宮市の居住年数別にみると、『3年未満』で「読んだことがない（『宮っ子』を知らないを含む）」が40.8%と、全体より29.2ポイント高くなっている。
- 住まいの種別にみると、「読んだことがない（『宮っ子』を知らないを含む）」の割合が、『民間の賃貸住宅・マンション、間借り』で28.2%、『社宅・寮など』で42.1%と高くなっている。

(n=2,019)



■年齢（4区分）別 『宮っ子』を読む頻度

単位：%

	n (人)	よく読んでいる	時々読んでいる	以前は読んでいたが、最近（直近1年間）は読んでいない	読んだことがない （『宮っ子』を知らないを含む）	無回答
全 体	2,019	32.3	40.6	11.6	11.6	3.9
18～29 歳	175	6.3	25.7	21.7	44.6	1.7
30～49 歳	597	23.5	45.2	13.4	16.2	1.7
50～64 歳	533	32.6	46.2	12.0	5.8	3.4
65 歳以上	707	46.0	36.2	7.4	4.1	6.4

■西宮市の居住年数別・住まいの種別 『宮っ子』を読む頻度

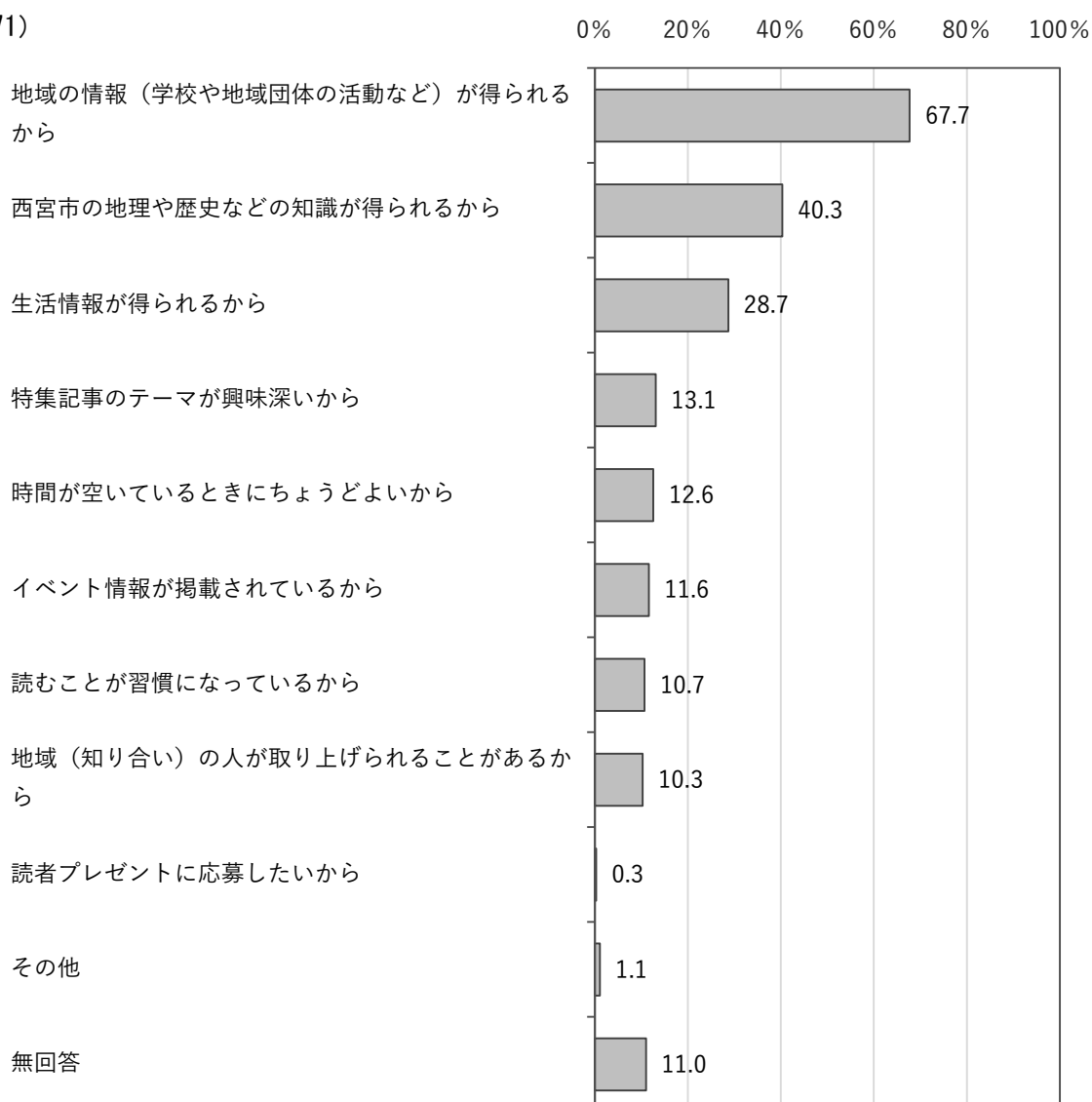
単位：%

		n (人)	よく読んでいる	時々読んでいる	以前は読んでいたが、最近(直近1年間)は読んでいない	読んだことがない(『宮っ子』を知らないを含む)	無回答
全 体		2,019	32.3	40.6	11.6	11.6	3.9
西宮市の居住年数別	3年未満	125	20.8	30.4	3.2	40.8	4.8
	3年以上～6年未満	115	22.6	42.6	9.6	24.3	0.9
	6年以上～10年未満	122	18.9	43.4	18.0	18.0	1.6
	10年以上～20年未満	380	29.2	44.5	11.3	12.6	2.4
	20年以上	1,261	36.8	39.7	12.1	6.7	4.8
住まいの種別	持ち家(一戸建て、長屋建て)	835	36.3	42.5	10.4	7.5	3.2
	持ち家(マンションなどの集合住宅)	620	35.6	43.7	11.3	6.1	3.2
	公営・公社・都市再生機構(UR)などの賃貸住宅	144	35.4	40.3	8.3	9.7	6.3
	民間の賃貸住宅・マンション、間借り	347	18.2	32.0	16.4	28.2	5.2
	社宅・寮など	38	7.9	39.5	7.9	42.1	2.6

問 17. 問 16 で、「よく読んでいる」または「時々読んでいる」に○を付けた方にお聞きします。
 あなたが、『宮っ子』を読む理由は次のうちのどれですか。(あてはまるものを最大3つ選んで○)

- 『宮っ子』を読む理由については、「地域の情報(学校や地域団体の活動など)が得られるから」が67.7%と最も高く、次いで「西宮市の地理や歴史などの知識が得られるから」(40.3%)、「生活情報が得られるから」(28.7%)となっている。
- 年齢(4区分)別にみると、年齢区分が上がるにつれ、「西宮市の地理や歴史などの知識が得られるから」が高くなる傾向がみられる。
- 西宮市の居住年数別にみると、居住年数が長くなるにつれ「西宮市の地理や歴史などの知識が得られるから」が高く、短くなるにつれ「イベント情報が掲載されているから」が高くなる傾向がみられる。

(n=1,471)



■年齢（4区分）別 『宮っ子』を読む理由

単位：%

	n (人)	地域の情報(学校や地域団体の活動など)が得られるから	地域(知り合い)の人が取り上げられることがあるから	特集記事のテーマが興味深いから	生活情報が得られるから	西宮市の地理や歴史などの知識が得られるから	イベント情報が掲載されているから	読者プレゼントに応募したいから	読むことが習慣になっているから	時間が空いているときにちょうどよいから
全 体	1,471	67.7	10.3	13.1	28.7	40.3	11.6	0.3	10.7	12.6
18～29 歳	56	51.8	14.3	8.9	19.6	17.9	8.9	0.0	7.1	23.2
30～49 歳	410	70.0	12.0	6.3	33.4	24.9	16.6	0.2	6.1	16.1
50～64 歳	420	69.5	13.8	12.9	27.1	43.6	10.7	0.5	7.6	11.4
65 歳以上	581	66.6	6.4	18.4	27.5	51.3	9.0	0.2	16.5	10.0
	n (人)	その他	無回答							
全 体	1,471	1.1	11.0							
18～29 歳	56	5.4	8.9							
30～49 歳	410	0.7	9.8							
50～64 歳	420	1.2	11.2							
65 歳以上	581	0.9	11.5							

■西宮市の居住年数別 『宮っ子』を読む理由

単位：%

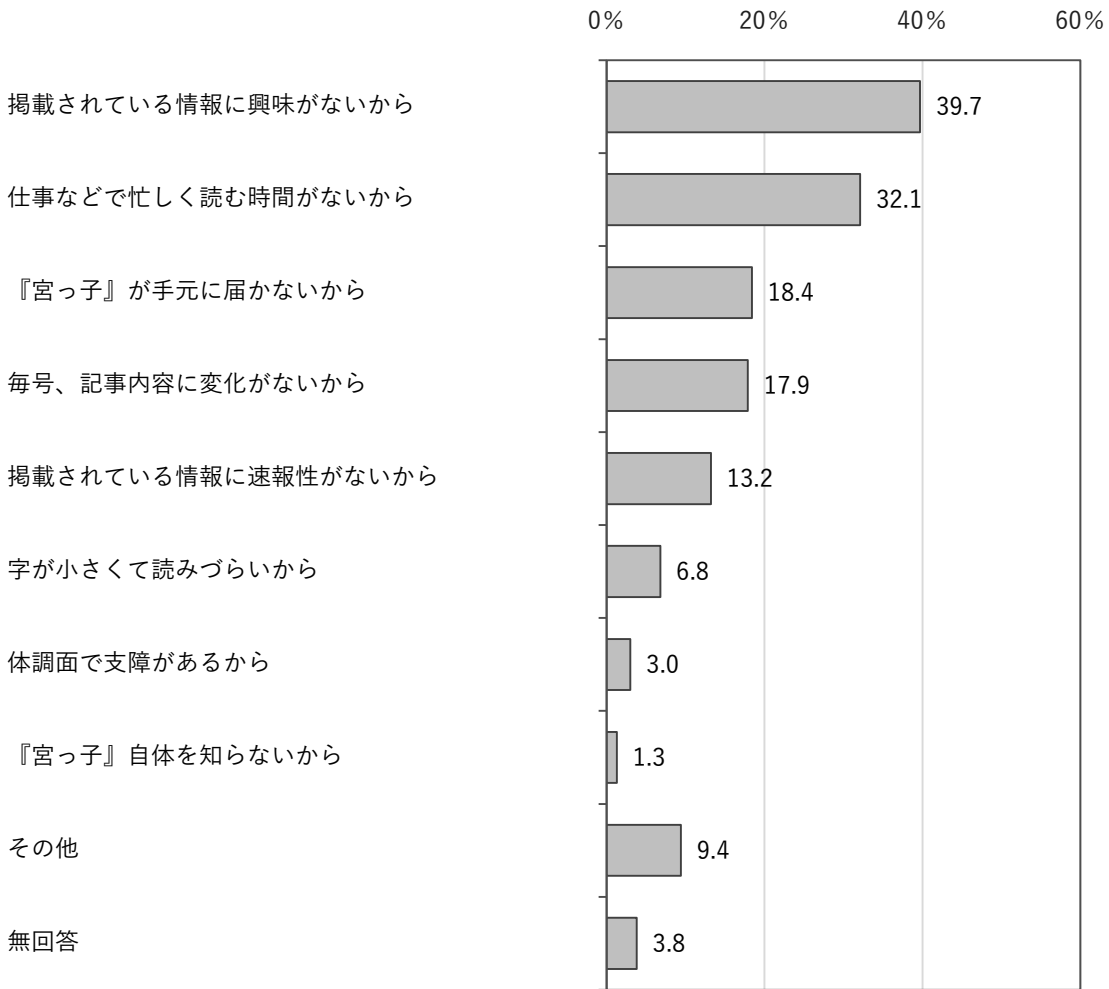
	n (人)	地域の情報(学校や地域団体の活動など)が得られるから	地域(知り合い)の人が取り上げられることがあるから	特集記事のテーマが興味深いから	生活情報が得られるから	西宮市の地理や歴史などの知識が得られるから	イベント情報が掲載されているから	読者プレゼントに応募したいから
全 体	1,471	67.7	10.3	13.1	28.7	40.3	11.6	0.3
3年未満	64	62.5	3.1	6.3	42.2	21.9	25.0	0.0
3年以上～6年未満	75	64.0	2.7	2.7	34.7	29.3	24.0	0.0
6年以上～10年未満	76	69.7	7.9	13.2	46.1	30.3	21.1	0.0
10年以上～20年未満	280	70.7	13.6	10.0	26.4	32.1	9.6	0.7
20年以上	965	67.7	10.8	15.3	26.7	45.6	9.5	0.2
	n (人)	読むことが習慣になっているから	時間が空いているときにちょうどよいから	その他	無回答			
全 体	1,471	10.7	12.6	1.1	11.0			
3年未満	64	0.0	15.6	1.6	14.1			
3年以上～6年未満	75	4.0	18.7	0.0	10.7			
6年以上～10年未満	76	1.3	15.8	1.3	6.6			
10年以上～20年未満	280	7.5	13.2	1.4	10.0			
20年以上	965	13.6	11.6	1.0	11.3			

問 18. 問 16 で、「以前は読んでいたが、最近（直近 1 年間）は読んでいない」または「読んだことがない」に○を付けた方にお聞きします。『宮っ子』を読まない理由は次のうちのどれですか。（あてはまるものを最大 3 つ選んで○）

< (1) 問 16 で「以前は読んでいたが、最近（直近 1 年間）は読んでいない」と答えた方での集計 >

- 『宮っ子』を読まない理由については、「掲載されている情報に興味がないから」が 39.7% と最も高く、次いで「仕事などで忙しく読む時間がないから」(32.1%)、「『宮っ子』が手元に届かないから」(18.4%) となっている。
- 年齢（4 区分）別にみると、『18～29 歳』・『30～49 歳』で「仕事などで忙しく読む時間がないから」が 4 割を超え高くなっている。『50～64 歳』では「掲載されている情報に興味がないから」が 54.7% と、全体より 15.0 ポイント高くなっている。また、『50～64 歳』・『65 歳以上』では「毎号、記事内容に変化がないから」がともに 3 割近くを占め高くなっている。
- 「読んだことがない」と答えた方での集計（36 頁）と比較すると、「以前は読んでいたが、最近（1 年間）は読んでいない」と答えた方で、「毎号、記事内容に変化がないから」・「掲載されている情報に速報性がないから」がともに 10 ポイント程度高くなっている。

(n=234)



■年齢（4区分）別 『宮っ子』を読まない理由

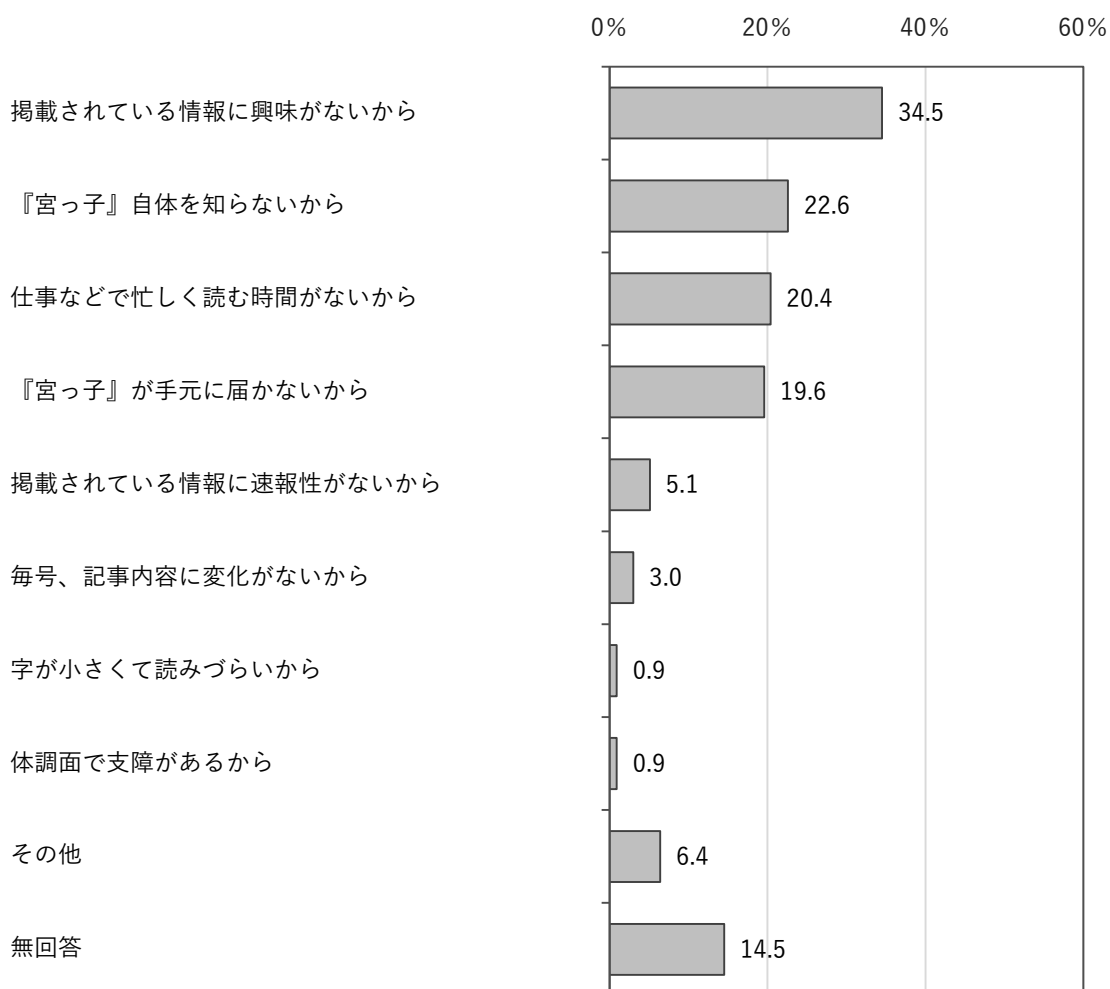
単位：%

	n (人)	掲載されている情報に興味がないから	掲載されている情報に速報性がないから	毎号、記事内容に変化がないから	字が小さくて読みづらいから	『宮っ子』が手元に届かないから	『宮っ子』自体を知らないから	仕事などで忙しく読む時間がないから
全 体	234	39.7	13.2	17.9	6.8	18.4	1.3	32.1
18～29 歳	38	36.8	7.9	2.6	2.6	10.5	2.6	55.3
30～49 歳	80	31.3	7.5	10.0	5.0	21.3	0.0	42.5
50～64 歳	64	54.7	17.2	28.1	4.7	23.4	0.0	25.0
65 歳以上	52	36.5	21.2	28.8	15.4	13.5	3.8	7.7
	n (人)	体調面で支障があるから	その他	無回答				
全 体	234	3.0	9.4	3.8				
18～29 歳	38	0.0	2.6	5.3				
30～49 歳	80	0.0	8.8	3.8				
50～64 歳	64	1.6	9.4	1.6				
65 歳以上	52	11.5	15.4	5.8				

< (2) 問 16で「読んだことがない」と答えた方での集計 >

- 『宮っ子』を読まない理由については、「掲載されている情報に興味がないから」が34.5%と最も高く、次いで「『宮っ子』自体を知らないから」(22.6%)、「仕事などで忙しく読む時間がないから」(20.4%)となっている。
- 年齢(4区分)別にみると、『18~29歳』・『65歳以上』で「掲載されている情報に興味がないから」がともに4割を超え高くなっている。また、『50~64歳』で「『宮っ子』が手元に届かないから」が35.5%と、全体より15.9ポイント高くなっている。
- 西宮市の居住年数別にみると、『3年未満』・『3年以上~6年未満』・『6年以上~10年未満』で「『宮っ子』自体を知らないから」が4割程度を占め高くなっている。一方で、『10年以上~20年未満』・『20年以上』では「掲載されている情報に興味がないから」がともに4割を超え高くなっている。

(n=235)



■年齢（4区分）・西宮市の居住年数別 『宮っ子』を読まない理由

単位：%

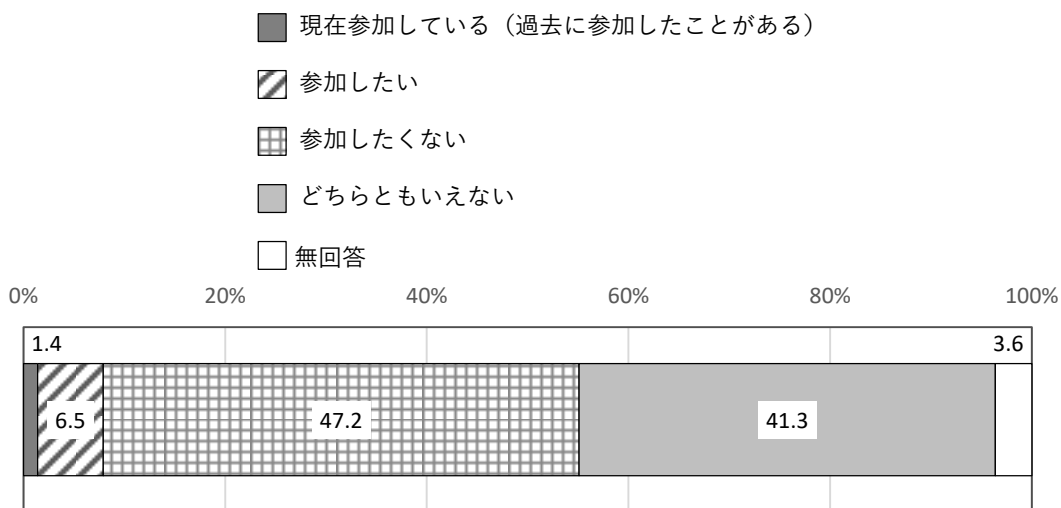
		n (人)	掲載されている情報に興味がないから	掲載されている情報に速報性がないから	毎号、記事内容に変化がないから	字が小さくて読みづらいから	『宮っ子』が手元に届かないから	『宮っ子』自体を知らないから	仕事などで忙しく読む時間がないから
全 体		235	34.5	5.1	3.0	0.9	19.6	22.6	20.4
年齢 (4区分) 別	18～29 歳	78	47.4	2.6	0.0	0.0	12.8	25.6	29.5
	30～49 歳	97	22.7	4.1	2.1	0.0	20.6	24.7	18.6
	50～64 歳	31	22.6	9.7	9.7	3.2	35.5	22.6	12.9
	65 歳以上	29	51.7	10.3	6.9	3.4	17.2	6.9	10.3
西宮市の 居住年数別	3 年未満	51	9.8	2.0	0.0	0.0	25.5	35.3	17.6
	3 年以上～6 年未満	28	17.9	0.0	0.0	0.0	25.0	42.9	21.4
	6 年以上～10 年未満	22	22.7	4.5	4.5	0.0	31.8	40.9	13.6
	10 年以上～20 年未満	48	47.9	2.1	0.0	0.0	18.8	14.6	25.0
	20 年以上	84	48.8	10.7	7.1	2.4	11.9	8.3	19.0
		n (人)	体調面で支障があるから	その他	無回答				
全 体		235	0.9	6.4	14.5				
年齢 (4区分) 別	18～29 歳	78	0.0	3.8	9.0				
	30～49 歳	97	1.0	6.2	21.6				
	50～64 歳	31	0.0	9.7	16.1				
	65 歳以上	29	3.4	10.3	3.4				
西宮市の 居住年数別	3 年未満	51	2.0	7.8	17.6				
	3 年以上～6 年未満	28	3.6	3.6	14.3				
	6 年以上～10 年未満	22	0.0	0.0	22.7				
	10 年以上～20 年未満	48	0.0	4.2	10.4				
	20 年以上	84	0.0	9.5	13.1				

問 19. すべての方にお聞きします。

『宮っ子』は、市民ボランティア編集員が企画、編集している地域の情報誌です。多くの市民が参画することで、身近な情報や地域の魅力を発信することを目指しています。あなたも『宮っ子』の企画、編集に参加したいと思いませんか。(1つ選んで○)

- 『宮っ子』の企画、編集への参加意向については、「現在参加している（過去に参加したことがある）」と「参加したい」を合わせた割合が7.9%となっている。

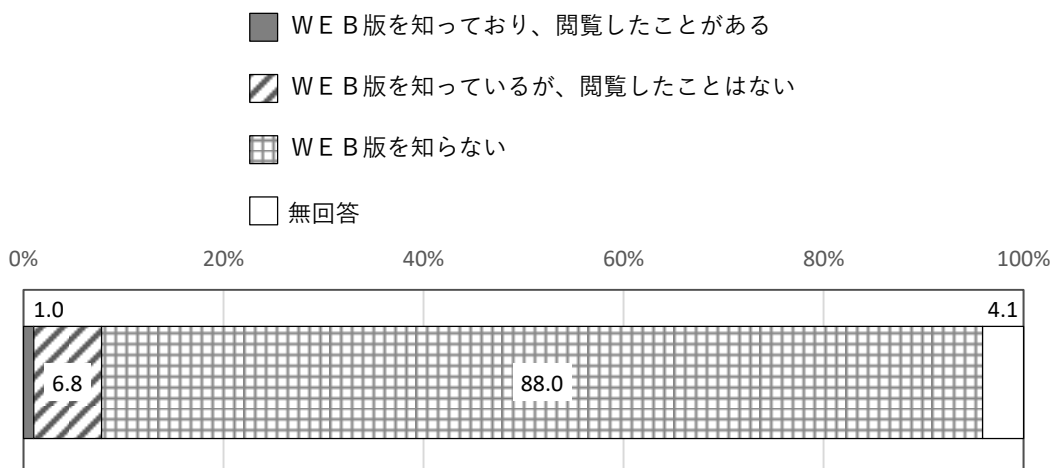
(n=2,019)



問 20. WEB版の『宮っ子』についてあてはまるものはどれですか。(1つ選んで○)

- WEB版『宮っ子』については、「WEB版を知らない」が88.0%と最も高く、「WEB版を知っており、閲覧したことがある」・「WEB版を知っているが、閲覧したことはない」を合わせた「WEB版を知っている」割合は7.8%となっている。

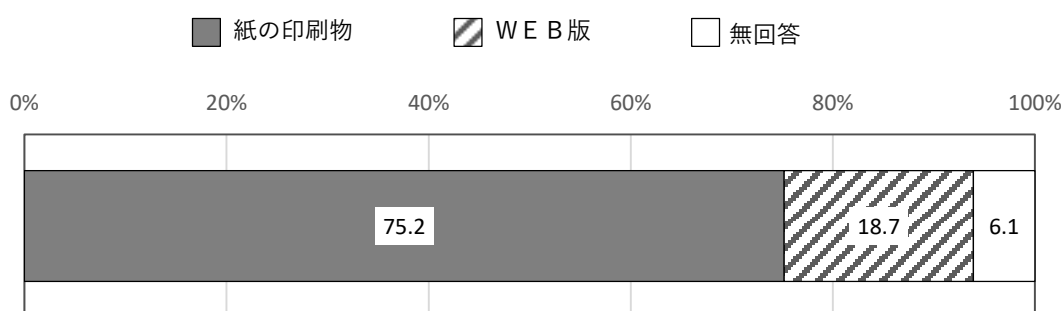
(n=2,019)



問 21. 『宮っ子』のような地域情報誌を読む場合、あなたは以下のどちらの媒体で読みたいと思いますか。(1つ選んで○)

- 『宮っ子』を読みたい媒体については、「紙の印刷物」が75.2%と最も高くなっている一方で、「WEB版」が18.7%となっている。
- 年齢（4区分）別にみると、いずれの年齢区分でも「紙の印刷物」が最も高くなっているものの、年齢区分が下がるにつれ「WEB版」が高くなる傾向がみられ、『18～29歳』では39.4%と4割近くを占める結果となっている。
- 住まいの種別にみると、『民間の賃貸住宅・マンション、間借り』・『社宅・寮など』で「WEB版」の回答が3割を超える結果となっている。

(n=2,019)



■年齢（4区分）・住まいの種別 『宮っ子』を読みたい媒体

単位：%

		n (人)	紙の印刷物	WEB版	無回答
全体		2,019	75.2	18.7	6.1
年齢 (4区分) 別	18～29歳	175	56.0	39.4	4.6
	30～49歳	597	70.7	27.3	2.0
	50～64歳	533	78.6	18.2	3.2
	65歳以上	707	81.3	6.9	11.7
住まいの種別	持ち家（一戸建て、長屋建て）	835	78.9	15.1	6.0
	持ち家（マンションなどの集合住宅）	620	78.7	15.8	5.5
	公営・公社・都市再生機構（UR）などの賃貸住宅	144	78.5	12.5	9.0
	民間の賃貸住宅・マンション、間借り	347	62.2	32.9	4.9
	社宅・寮など	38	52.6	42.1	5.3

施策に向けての一言 <『宮っ子』について>

1979年に創刊され、多くの西宮市民が手に取り読んでいる地域情報誌『宮っ子』について、西宮市はこれまでも認知度などに関する調査を実施してきた。今年度の調査でも同様に、『宮っ子』の認知度、関心のあるテーマ、読む頻度などを調査した。さらに、行政情報のさらなるオンライン化といった点を踏まえつつ、WEB版の『宮っ子』の認知度についても調査した。

まず『宮っ子』の配布状況などを見ると（問15・問16）、88%が「配布されている」と回答している。9割近い世帯に配布されていることがこの結果からわかる。また、「よく読んでいる」と「時々読んでいる」の選択率は73%である。多くの西宮市民が『宮っ子』に目を通しているといえる。

しかし、わずか6%だが「配布されていない」と回答している人もいる。属性と配布状況をクロスした分析結果を確認すると、集合住宅に住んでいる人ほど「配布されていない」と回答する傾向にあるようだ。自治会などがカバーしきれない集合住宅には『宮っ子』が届きにくいことを、この結果は示唆する。配布に携わっている市民ボランティアなどを対象に聞き取り調査を行うなど、配布対象外となっている集合住宅の有無について、具体的に把握する必要がある。同時に、そのような住宅にどのように『宮っ子』を配布するかについても、今後の検討課題とすべきだろう。

『宮っ子』を読む理由について調査したところ（問17）、もっとも選択率が高かった項目は「地域の情報が得られるから（68%）」であった。2番目に選択率が高かった項目は「西宮市の地理や歴史などの知識が得られるから（40%）」であり、かつこの項目は、西宮市に長く居住する高齢者ほど選択する傾向にある。地域情報誌なので地域の情報を得ることができるから、という項目が選択されるのは当然だが、西宮市に関する知識量が多いと考えられる高齢層ほど、西宮市に関する深い知識を得るために『宮っ子』に目を通すという結果は興味深い。情報誌なので広く様々な情報を伝える必要はあるが、この結果に鑑みれば、西宮の歴史などを専門的に深掘りする特集を組むことを検討してもよいのではないだろうか。

『宮っ子』のWEB版について調査したところ（問20）、「WEB版を知らない」と回答した人の割合は88%であり、ほとんどの人が紙媒体の冊子のみを認知していた。さらにどちらの媒体で読みたいかを尋ねたところ（問21）、75%の人が「紙の印刷物」と回答した。

現状ではこのように紙媒体の冊子を多くの人々が選択する傾向にある。しかし、年齢とクロスした分析結果を確認したところ、30代未満の若年層はWEB版で読みたいと回答する傾向にあった。長期的にはWEB版へのニーズも高まっていく可能性はある。この点を考慮し、今以上にWEB版の『宮っ子』を周知していくべきだろう。

（関西学院大学 善教将大）

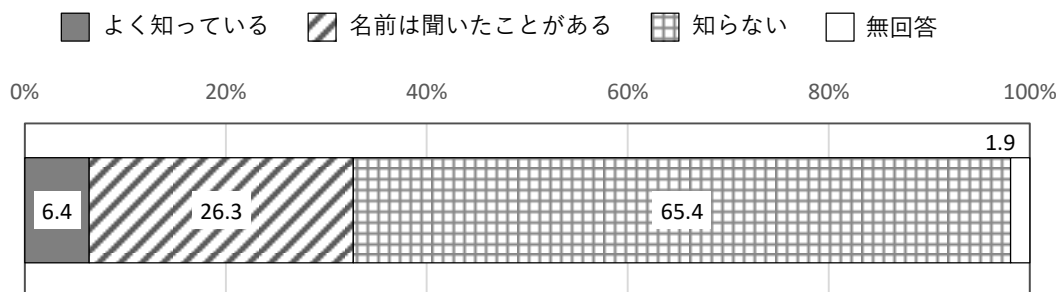
『こども未来センター』について

『こども未来センター』は平成27年9月に開所し、18歳までの子どもの心身の発達や療育・福祉に関することや、教育や不登校、性格に関すること等、様々な悩みについて相談に応じ、必要な支援につなげています。認知度や利用状況、子育ての悩み等について調査することで今後のこども未来センターの運営に生かしていきたいと考えています。

問22. あなたは『こども未来センター』を知っていますか。(1つ選んで○)

- 『こども未来センター』の認知度については、「知らない」が65.4%と最も高くなっている一方で、「よく知っている」と「名前は聞いたことがある」を合わせた割合は32.7%となっている。
- 年齢(4区分)別に見ると、全ての年齢区分で「知らない」が最も高くなっているものの、『30～49歳』で「よく知っている」が1割程度となっている。
- 西宮市の居住年数別に見ると、『3年未満』で「知らない」が80.0%と、全体より14.6ポイント高くなっている。
- 家族構成別に見ると、『親と中学生以下の子ども』で「よく知っている」が15.5%と1割を超えているものの、「知らない」の割合が51.9%と、中学生以下の子どもがいる家庭であっても半数を超える方が「知らない」と回答している結果となっている。
- 子ども的人数別に見ると、子ども的人数が増えるにつれ「よく知っている」が高くなる傾向がみられるものの、『3人以上』で17.6%と2割未満となっている。
- 一番下の子どもの年齢別に見ると、『未就学児』・『小学生』・『中学生』で「よく知っている」が全て1割を超えている一方で、『中学卒業後』・『19歳以上』では1割未満となっており、中学卒業前後で認知度に関きがある結果となっている。

(n=2,019)



■年齢（4区分）・西宮市の居住年数・家族構成・子どもの人数・一番下の子ども年齢別 『こども未来センター』の認知度

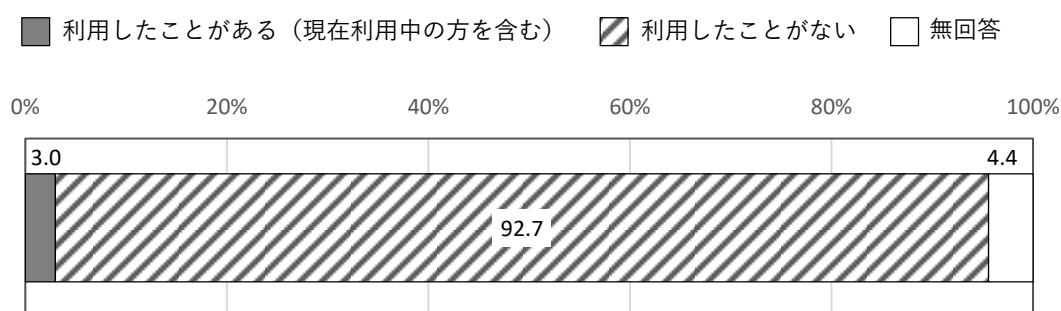
単位：%

		n (人)	よく知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答
全 体		2,019	6.4	26.3	65.4	1.9
年齢 (4区分) 別	18～29 歳	175	4.0	28.0	68.0	0.0
	30～49 歳	597	10.2	29.5	60.1	0.2
	50～64 歳	533	5.8	21.2	72.4	0.6
	65 歳以上	707	4.2	27.0	63.9	4.8
西宮市の居住年数別	3 年未満	125	1.6	16.8	80.0	1.6
	3 年以上～6 年未満	115	7.0	29.6	62.6	0.9
	6 年以上～10 年未満	122	6.6	33.6	59.8	0.0
	10 年以上～20 年未満	380	10.0	28.7	61.1	0.3
	20 年以上	1261	5.7	25.5	66.1	2.7
家族構成別	単身（ひとり暮らし）	237	3.0	20.3	73.4	3.4
	夫婦のみ	549	3.6	22.2	70.9	3.3
	親と中学生以下の子ども	401	15.5	32.4	51.9	0.2
	親と中学卒業後の子ども	589	5.4	28.2	66.2	0.2
	息子夫婦または娘夫婦と同居	41	9.8	31.7	56.1	2.4
子どもの 人数別	1 人	452	7.5	26.1	66.4	0.0
	2 人	357	10.9	35.0	53.5	0.6
	3 人以上	85	17.6	35.3	47.1	0.0
一番下の子どもの 年齢別	未就学児	177	13.6	31.1	54.8	0.6
	小学生	143	18.9	37.8	43.4	0.0
	中学生	70	14.3	22.9	62.9	0.0
	中学校卒業から18 歳まで	88	6.8	36.4	55.7	1.1
	19 歳以上	416	5.0	27.9	67.1	0.0

問 23. あなたやあなたの子どもが『こども未来センター』を利用したことがありますか。
(1つ選んで○)

- 『こども未来センター』の利用経験については、「利用したことがない」が92.7%と9割を超えている。
- 子どもの人数別にみると、子どもの人数が増えるにつれ「利用したことがある(現在利用中の方を含む)」が高くなる傾向がみられるものの、最も高い『3人以上』でも11.8%と1割程度と低くなっている。
- 一番下の子どもの年齢別にみると、「利用したことがある(現在利用中の方を含む)」割合は、最も高い『小学生』でも13.3%と1割程度となっている。

(n=2,019)



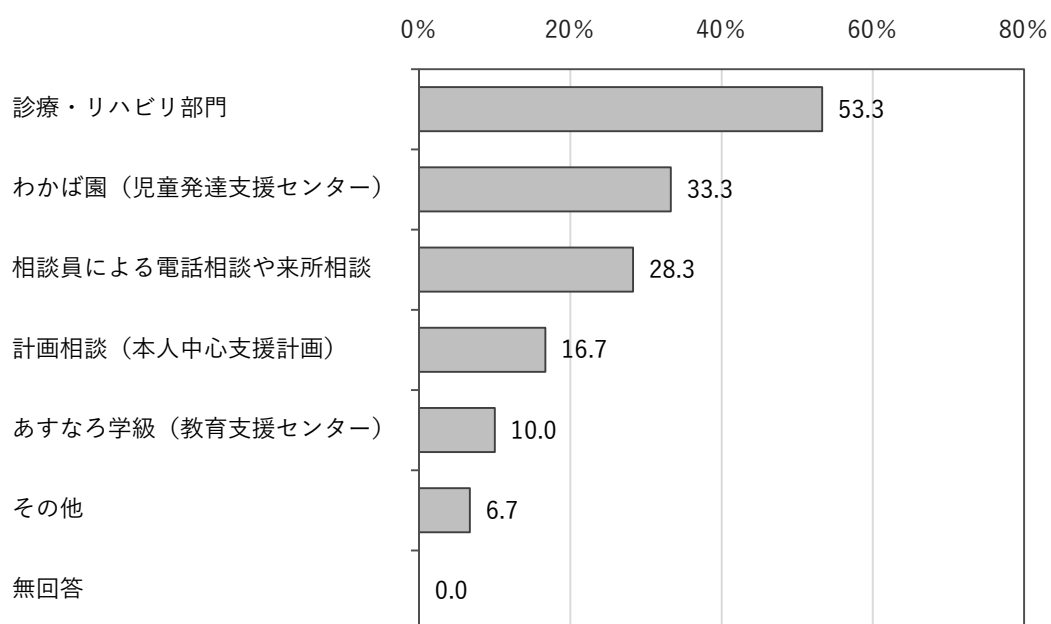
■子どもの人数・一番下の子どもの年齢別 『こども未来センター』の利用経験 単位：%

		n (人)	利用したことがある (現在利用中の方を含む)	利用したことがない	無回答
全 体		2,019	3.0	92.7	4.4
人数別 子どもの	1人	452	2.7	95.4	2.0
	2人	357	5.9	93.3	0.8
	3人以上	85	11.8	88.2	0.0
年齢別 一番下の子どもの	未就学児	177	7.9	91.5	0.6
	小学生	143	13.3	86.7	0.0
	中学生	70	8.6	91.4	0.0
	中学校卒業から18歳まで	88	2.3	96.6	1.1
	19歳以上	416	0.5	97.1	2.4

問 24. 問 23 で『利用したことがある』と答えた方にお聞きします。
利用したことがあるものは次のうちどれですか。(あてはまるものをすべて選んで○)

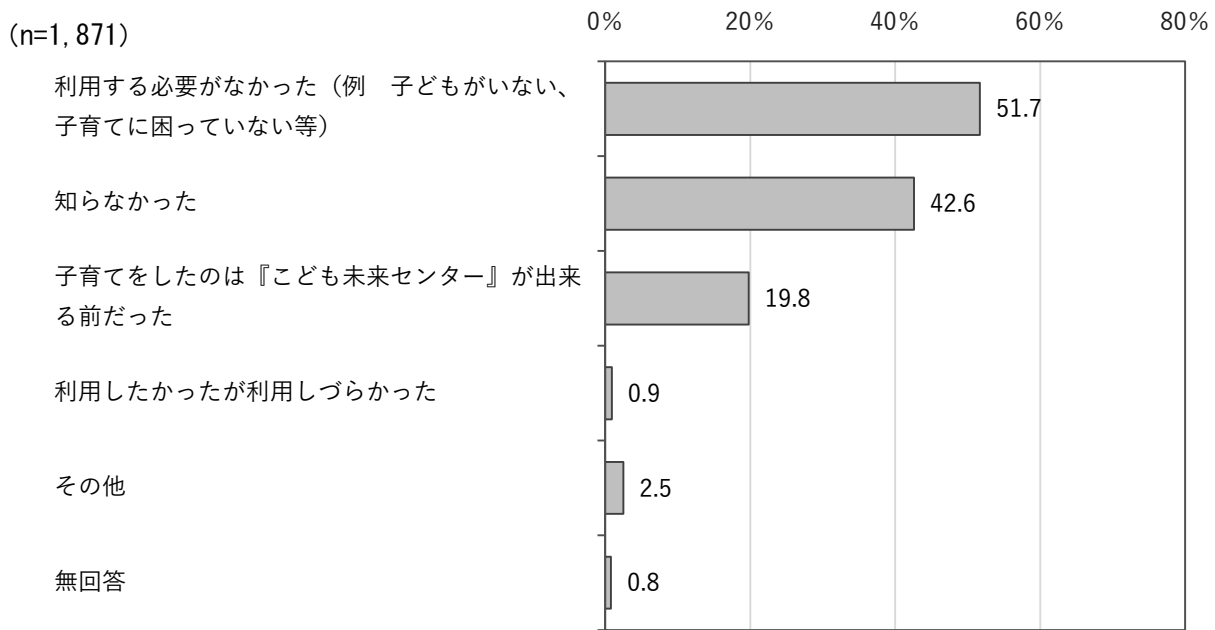
- 利用したことがある内容については、「診療・リハビリ部門」が 53.3% と最も高く、次いで「わかば園（児童発達支援センター）」（33.3%）、「相談員による電話相談や来所相談」（28.3%）となっている。

(n=60)



問 25. 問 23 で『利用したことがない』と答えた方にお聞きします。その理由は次のうちどれですか。(あてはまるものをすべて選んで○)

- 利用したことがない理由については、「利用する必要がなかった（例 子どもがいない、子育てに困っていない等）」が51.7%と最も高く、次いで「知らなかった」（42.6%）、「子育てをしたのは『こども未来センター』が出来る前だった」（19.8%）となっている。
- 一番下の子どもの年齢別にみると、全ての年齢で「利用したかったが利用しづらかった」が5%未満と低い割合となっている。



■一番下の子どもの年齢別 『こども未来センター』を利用したことがない理由 単位：%

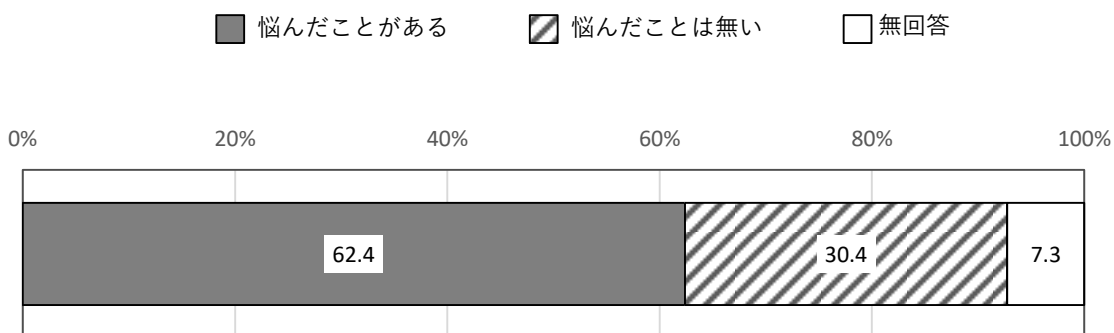
	n (人)	利用する必要がなかった (例 子どもがいない、子育てに困っていない等)	知らなかった	子育てをしたのは『こども未来センター』 が出来る前だった	利用したかったが利用しづらかった	その他	無回答
全 体	1,871	51.7	42.6	19.8	0.9	2.5	0.8
未就学児	162	38.9	58.0	0.0	2.5	7.4	0.0
小学生	124	43.5	54.8	1.6	3.2	6.5	1.6
中学生	64	48.4	57.8	4.7	3.1	0.0	0.0
中学校卒業から18歳まで	85	49.4	49.4	9.4	1.2	2.4	0.0
19歳以上	404	45.5	44.3	28.7	0.7	1.5	0.5

問 26. すべての方にお聞きします。
 あなたは子育てに悩んだ経験がありますか。(1つ選んで○)

※「該当しない(例 子どもがいない等)」は抜いて集計

- 子育てで悩んだ経験については、「悩んだことがある」が 62.4%で最も高くなっている一方で、「悩んだことは無い」は 30.4%となっている。
- 一番下の子どもの年齢別にみると、『未就学児』・『小学生』・『中学生』で「悩んだことがある」が8割程度を占め高くなっている。

(n=1,475)



■一番下の子どもの年齢別 子育てで悩んだ経験

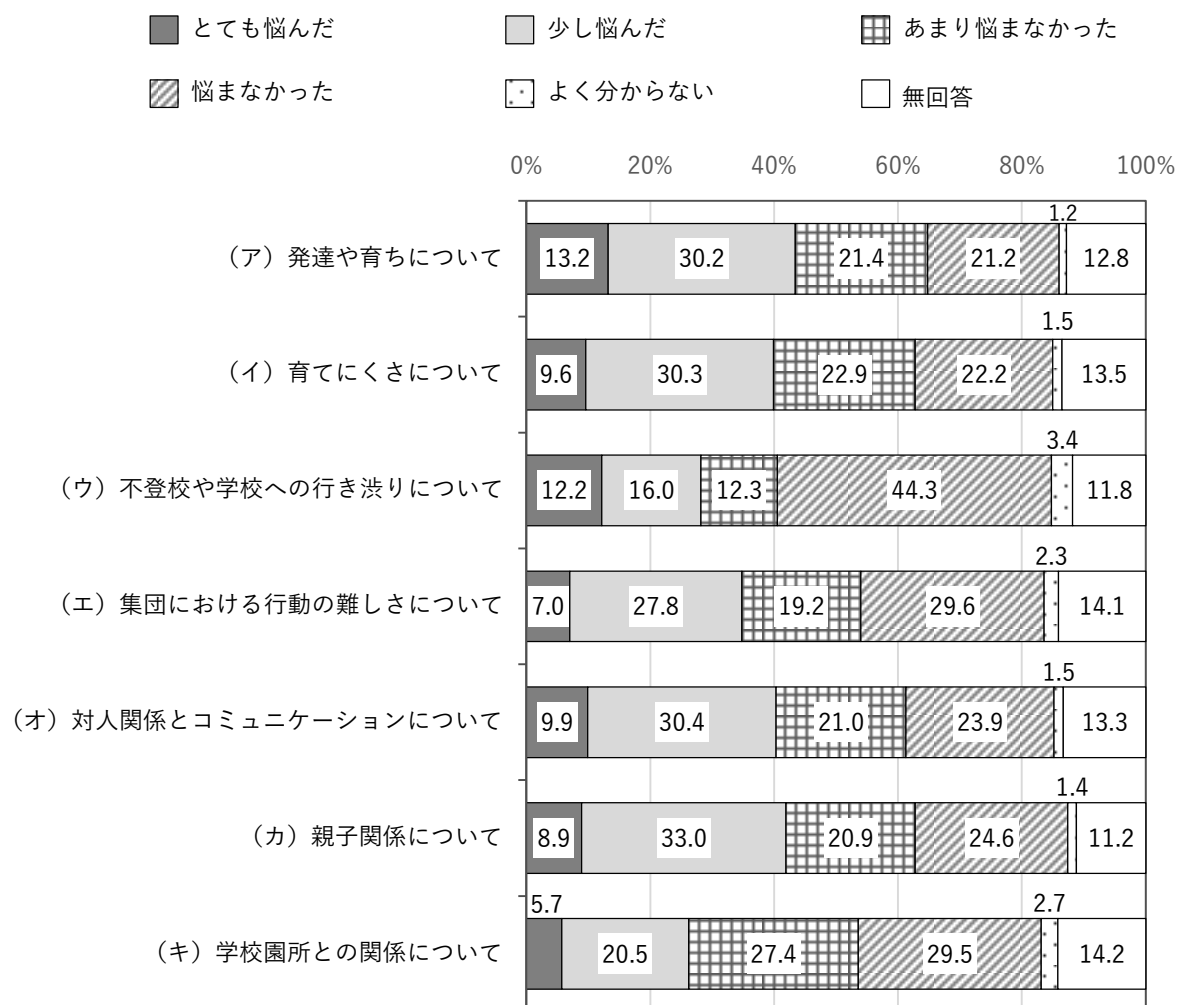
単位：%

	n (人)	悩んだことがある	悩んだことは無い	無回答
全 体	1,475	62.4	30.4	7.3
未就学児	177	78.0	21.5	0.6
小学生	139	80.6	19.4	0.0
中学生	66	78.8	19.7	1.5
中学校卒業から 18 歳まで	72	72.2	26.4	1.4
19 歳以上	299	68.2	27.1	4.7

問 27. 問 26 で『悩んだことがある』と答えた方にお聞きします。
『こども未来センター』では主に下記のような子育ての悩みについて相談を受けていますが、あなたは子育てについて下記の悩みがありましたか。
(それぞれについてあてはまるものを1つ選んで○)

- 子育ての悩みについては、「(ア)発達や育ちについて」、「(オ)対人関係とコミュニケーションについて」、「(カ)親子関係について」で、「とても悩んだ」・「少し悩んだ」を合わせた割合が4割を超える結果となっている。

(n=920)

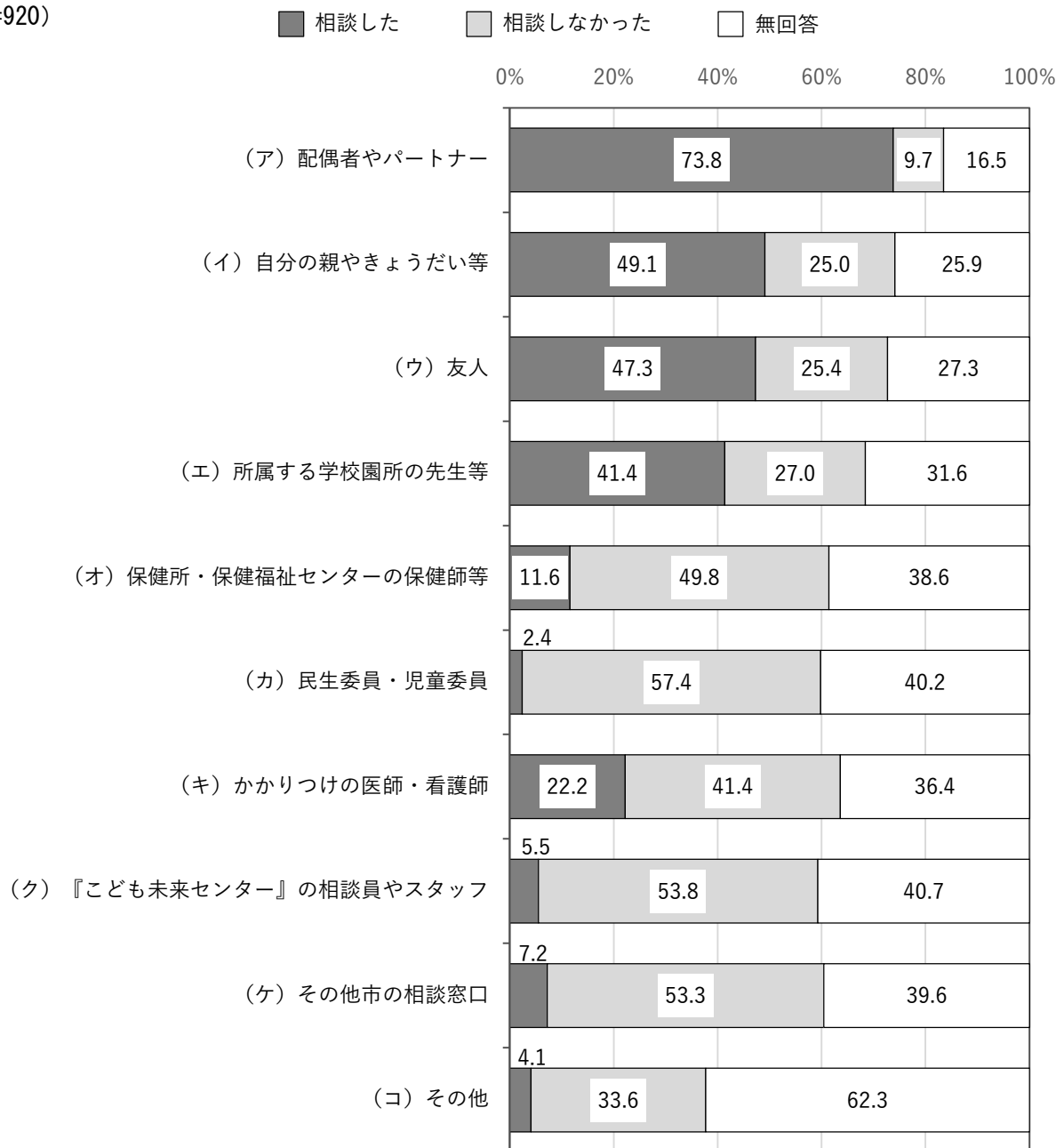


問 28. 問 26 で『悩んだことがある』と答えた方にお聞きします。

① あなたは子育ての悩みについて誰かに相談しましたか。
 (それぞれについてあてはまるものを1つ選んで○)

- 子育ての悩みの相談先については、「(ア) 配偶者やパートナー」で「相談した」割合が73.8%と最も多く、次いで「(イ) 自分の親やきょうだい等」(49.1%)、「(ウ) 友人」(47.3%)となっており、身近な人への相談が多い結果となっている。
- 「(ク)『こども未来センター』の相談員やスタッフ」については、「相談した」割合が5.5%と1割に満たない結果となっており、各項目と比較しても「(コ) その他」を抜いて「相談した」割合が2番目に低い結果となっている。

(n=920)

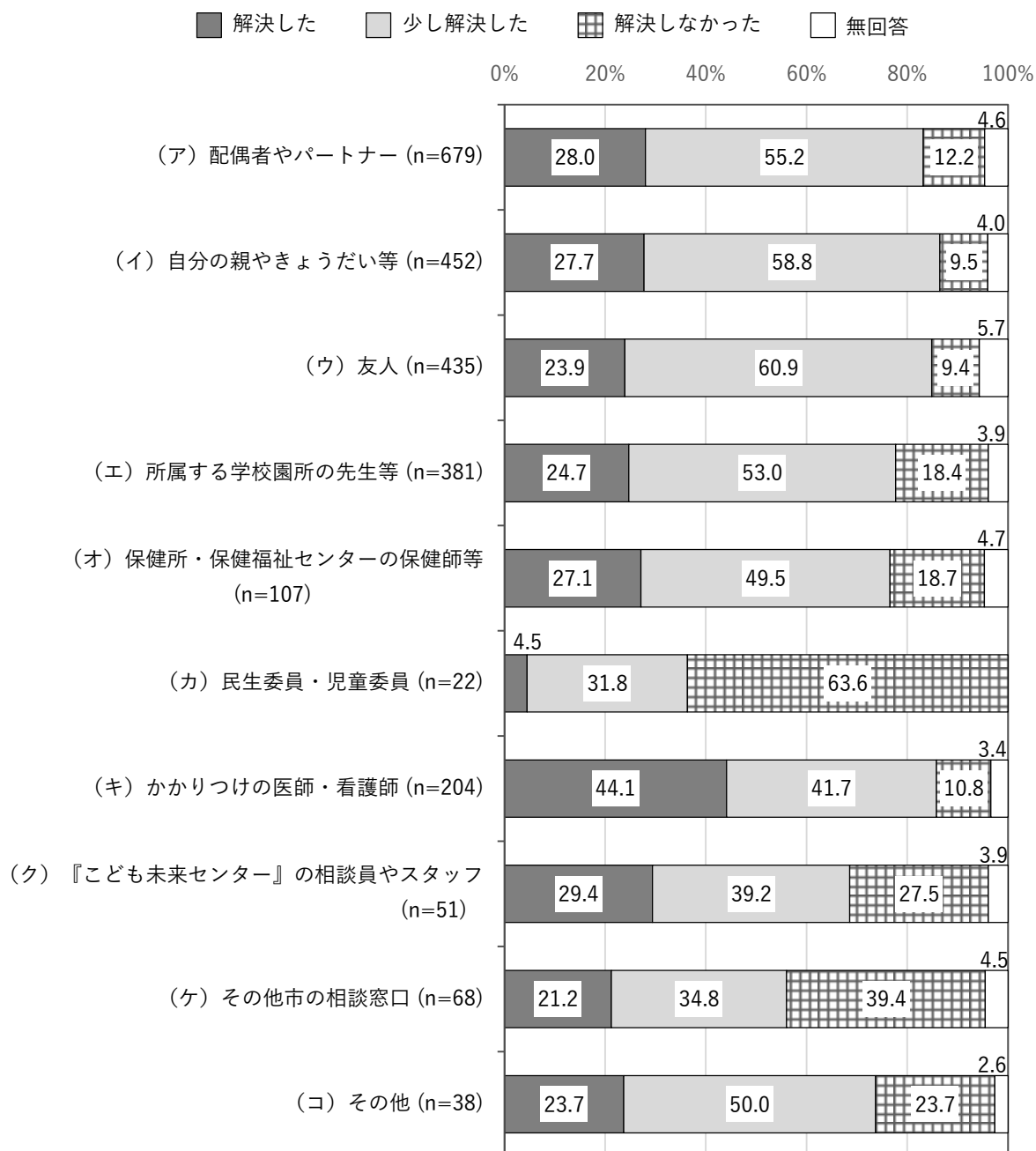


問 28. 問 26 で『悩んだことがある』と答えた方にお聞きします。

② また相談した結果、悩みはどの程度解決しましたか。

(それぞれについてあてはまるものを1つ選んで○)

- 相談の結果、悩みが解決したかについては、「(キ) かかりつけの医師・看護師」で「解決した」が44.1%と高くなっている。
- 「(ク) 『こども未来センター』の相談員やスタッフ」については、「解決した」割合が29.4%と3割近くを占めており、各項目と比較すると2番目に「解決した」割合が高くなっている。

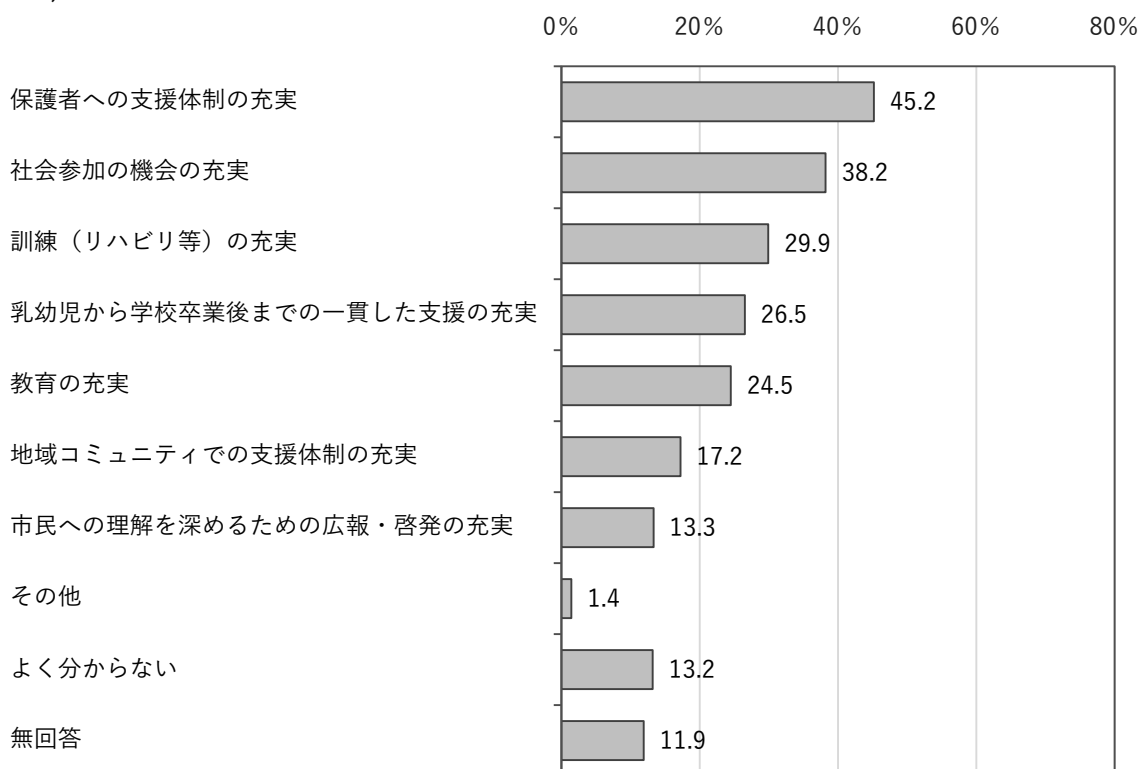


問 29. すべての方にお聞きします。

あなたは障害がある子ども達への支援について、どのようなことが大切だと思いますか。
(あてはまるものを最大3つ選んで○、よく分からない場合は9に○)

- 障害がある子ども達への支援で大切なことについては、「保護者への支援体制の充実」が45.2%と最も高く、次いで「社会参加の機会の充実」(38.2%)、「訓練(リハビリ等)の充実」(29.9%)となっている。
- 一番下の子どもの年齢別にみると、『未就学児』で「保護者への支援体制の充実」が62.1%と6割を超えており、全体より16.9ポイント高くなっている。また『中学生』で「乳幼児から学校卒業後までの一貫した支援の充実」が38.6%と、全体より12.1ポイント高くなっている。

(n=2,019)



■一番下の子どもの年齢別 障害がある子ども達への支援で大切なこと

単位：%

	n (人)	訓練(リハビリ等) の充実	教育の充実	社会参加の 機会の充実	保護者への 支援体制の 充実	乳幼児から 学校卒業後 までの一貫 した支援の 充実	地域コミュニ ティでの支 援体制の充 実	市民への理 解を深める ための広報 ・啓発の充 実
全 体	2,019	29.9	24.5	38.2	45.2	26.5	17.2	13.3
未就学児	177	40.7	31.6	35.6	62.1	30.5	15.8	11.3
小学生	143	32.2	30.1	32.9	57.3	30.1	21.0	16.1
中学生	70	25.7	30.0	37.1	57.1	38.6	18.6	17.1
中学校卒業から18歳まで	88	43.2	27.3	45.5	47.7	26.1	17.0	11.4
19歳以上	416	27.9	26.0	41.1	43.5	25.0	17.3	14.7
	n (人)	その他	よく分 からない	無回 答				
全 体	2,019	1.4	13.2	11.9				
未就学児	177	1.1	4.0	11.3				
小学生	143	0.7	6.3	9.1				
中学生	70	1.4	4.3	14.3				
中学校卒業から18歳まで	88	0.0	9.1	10.2				
19歳以上	416	2.2	14.2	10.6				

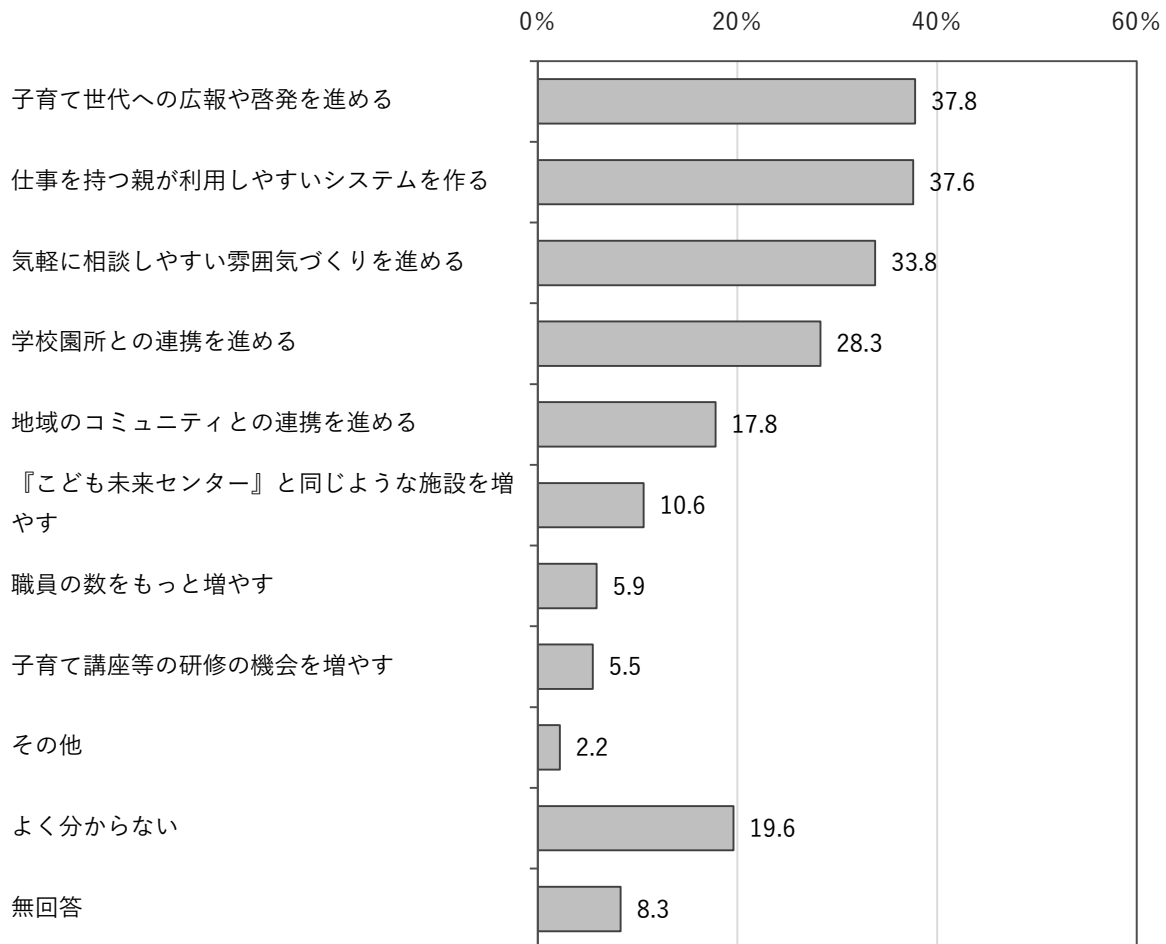
問 30. すべての方にお聞きします。

あなたは『こども未来センター』がもっと市民に認知され、より利用しやすい施設になるためにはどうすべきだと思いますか。

(あてはまるものを最大3つ選んで○、よく分からない場合は10に○)

- 『こども未来センター』がもっと認知され、より利用しやすい施設になるために必要なことについては、「子育て世代への広報や啓発を進める」が37.8%と最も高く、次いで「仕事を持つ親が利用しやすいシステムを作る」(37.6%)、「気軽に相談しやすい雰囲気づくりを進める」(33.8%)となっている。
- 一番下の子どもの年齢別にみると、『未就学児』で『こども未来センター』と同じような施設を増やす」が24.9%と、全体より14.3ポイント高くなっている。また、『中学生』で「仕事を持つ親が利用しやすいシステムを作る」が50.0%と、全体より12.4ポイント高くなっている。

(n=2,019)



■一番下の子どもの年齢別 『こども未来センター』がもっと認知され、より使用しやすい施設になるために必要なこと

単位：%

	n (人)	子育て世代への広報や啓発を進める	気軽に相談しやすい雰囲気づくりを進める	地域のコミュニティとの連携を進める	学校園所との連携を進める	『こども未来センター』と同じような施設を増やす	子育て講座等の研修の機会を増やす	仕事を持つ親が利用しやすいシステムを作る
全 体	2,019	37.8	33.8	17.8	28.3	10.6	5.5	37.6
未就学児	177	55.9	29.4	17.5	40.7	24.9	9.0	37.9
小学生	143	47.6	33.6	16.1	46.9	17.5	7.7	38.5
中学生	70	42.9	38.6	15.7	41.4	10.0	8.6	50.0
中学校卒業から18歳まで	88	54.5	34.1	25.0	44.3	10.2	4.5	29.5
19歳以上	416	42.1	35.1	15.4	28.8	9.6	5.3	42.1
	n (人)	職員の数をもっと増やす	その他	よく分らない	無回答			
全 体	2,019	5.9	2.2	19.6	8.3			
未就学児	177	5.1	1.7	4.0	6.2			
小学生	143	9.8	2.8	2.8	6.3			
中学生	70	7.1	4.3	10.0	5.7			
中学校卒業から18歳まで	88	5.7	1.1	14.8	4.5			
19歳以上	416	5.5	3.4	20.2	5.3			

施策に向けての一言 <『こども未来センター』について>

こども未来センターは、平成27年の開所以来、子どもの心身の発達など様々な悩みについての相談や支援事業を行ってきた。しかし、開所してまだそれほど年月が経過していないこともあり、認知度や利用頻度の低さといった課題もある。そのような背景から、この意識調査で、こども未来センターの現状と課題について調査することとなった。

まずこども未来センターの認知度について調査したところ（問22）、「よく知っている」と回答した人は6%であり、6割を超える人が「知らない」と回答した。居住年数が短く、西宮に来て間もない人は認知していない傾向にあり、クロス分析の結果もその傾向をはっきりと示す。しかし、家族構成や子ども的人数により認知度は変化する。低いといえども子育て世帯や子ども的人数が多い世帯では、認知度が高くなる。

しかし上述した通り全体としての認知度が低く、したがってこども未来センターの認知度を高めることは喫緊の課題である。実際に利用したことがある人の割合を見ても3%と小さい（問23）。ただし、こども未来センターは、すべての人が気軽に利用するものではない。この値を直接的な評価対象とすべきではなく、また、この結果をもって利用されていないと判断すべきでないことは、ここに強調して記しておく。

実際に利用した目的の調査結果を見ると（問24）、「診療・リハビリ部門（53%）」「わかば園（33%）」といった項目の選択率が高い。しかし、利用したことがないと答えた人の理由について調査した結果（問25）を見ると、そのように回答した人の43%が「知らなかった」を選択している。これらの結果を踏まえるなら、これまで行ってきた広報の量を単純に増やすだけではなく、広報のあり方や戦略性について、検討すべきだろう。例えば多くの西宮市民が目を通す広報誌や情報誌等にこども未来センターの情報を継続的に掲載するなどが、案として考えられる。

子育てについて悩みを抱えている人は少なくない。この点について調査した結果を見ると（問26・問27）、該当者のうち、「悩んだことがある」と回答した人の割合は62%だった。次いでどのようなことに悩みを抱えている、あるいはいたのかを尋ねたところ、相対的に選択率が高かった項目は「発達や育ち」「育てにくさ」「対人関係とコミュニケーション」「親子関係」だった。こども未来センターは、これらの悩みについても対処・対応可能なので、潜在的なニーズはあるといえる。

しかし、その相談先としてこども未来センターが選択されることは少なく、この点も課題として指摘すべきだろう。調査結果を見ると（問28）、多くの人は「配偶者やパートナー」「自分の親やきょうだい」といった身近な人に相談する傾向にあり、「こども未来センター」の職員等に相談した人はわずか6%だった。加えて、相談した人の中で「少し解決した」「解決した」と回答した人が相対的には多いものの、「解決しなかった」と回答した人の割合も、他の項目のそれと比較すれば多い。こども未来センターのスタッフを増やすなど、センターの機能をさらに充実させ、西宮市民のニーズにしっかりとこたえるための組織をつくっていく必要があることを示唆する結果だろう。

（関西学院大学 善教将大）

IV 自由意見

IV 自由意見

■主な自由回答意見

- 584 人の回答者が自由意見を記述しており、意見の内容は 862 件となった。意見内容を整理すると、次の通りである。

景観・環境		28
街路樹等の整備・管理	6	
自然環境の保全	5	
マンションなどの規制	4	
緑の育成・保全	3	
路上喫煙・歩きタバコ	3	
その他	7	
<hr/>		
廃棄物・ゴミ		26
ゴミ処理・収集・カラス対策	22	
その他	4	
<hr/>		
まちづくり・住まいの環境		87
住みよいまちとの評価	25	
より良いまちづくりに向けてのご意見	24	
北部のまちづくりについて	18	
西宮北口について	4	
子どもの遊び場の充実	3	
その他	13	
<hr/>		
公園		21
公園の充実	11	
公園や公園設備の整備・管理	5	
公園利用マナーの改善	3	
その他	2	
<hr/>		
計画・開発		6
駅周辺の再開発	4	
都市開発	2	

雇用		5
高齢者の雇用環境	3	
その他	2	
交通		45
高齢者などの移動支援	16	
交通利便性の向上	9	
交通規則の遵守・マナー向上	6	
交通環境の整備・改善	6	
バス・鉄道の運行について	3	
交通渋滞の改善	2	
武庫川新駅の設置	2	
その他	1	
道路		36
道路（歩道）の整備・改善	24	
道路・通学路の安全	4	
自転車専用レーンの設置	3	
街灯の整備	2	
その他	3	
施設		30
病院の充実	8	
図書館サービスの充実・改善	4	
貯蔵図書の実・新調	4	
スポーツ施設の充実	4	
図書館の立地場所が不便	2	
図書館の改装	2	
その他	6	

教育		45
教育環境の充実・改善	9	
学校教育の充実・改善	8	
教員の適正な配置・資質の向上	7	
不登校児童生徒への支援の充実	4	
授業料の無償化	4	
学校給食の充実	2	
給食の無償化	2	
いじめ問題への取り組みの強化	2	
その他	7	
健康・福祉		99
『こども未来センター』について	21	
子育て支援の充実	19	
高齢者福祉の充実	15	
医療費助成の拡充	14	
保育園・幼稚園の充実	7	
福祉の充実	6	
障害者支援の充実	6	
待機児童の解消・改善	4	
保育体制の充実	3	
高校生・大学生を持つ家庭への支援の充実	2	
その他	2	
防災・防犯		15
防災対策の充実	7	
防災無線の改善	5	
その他	3	
コミュニティ		45
『宮っ子』について	41	
地域の自治会などの仕組み改善	4	
選挙・議会・議員		11
議員数の削減	5	
議員の給与・待遇の見直し	4	
その他	2	

市政・行政**281**

市への感謝	25
税金について（高い、無駄遣い、不公平など）	23
市長への期待・要望	15
市政についての希望・要望	14
市の広報・PRの改善・強化	14
市への応援・ねぎらい	12
市政・行政への評価	8
市職員の資質向上	7
デジタル化の推進	7
市の情報提供の改善	6
デジタル弱者への配慮	5
南北格差について	4
市職員の給与・待遇について	4
市の窓口対応について	4
水道料金について	3
相談窓口の充実	3
市民サービスの充実・改善	3
市のホームページについて	2
ふるさと納税について	2
行政改革・横の連携の推進	2
ボランティアの活用	2
マイナンバーカードについて	2
財政管理について	2
その他	29
コロナワクチン対応の充実	27
コロナに対する医療体制の充実	16
コロナ関連情報の発信の充実	10
コロナ感染拡大予防対策の充実	8
学校でのコロナ対応の充実	8
コロナ対応の充実	7
コロナ禍での支援	7

市民意識調査		53
質問項目について	32	
ICTの活用	10	
調査に対する評価	5	
その他	6	
その他		29
特になし、不明、わからない	19	
その他	10	

V 使用した調査票



明日のまちづくりにあなたの声を

西宮市民意識調査

令和3年度
(2021年度)

市民のみなさまには、日頃から市政にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

この市民意識調査は、みなさまの声を明日の西宮市のまちづくりに反映させるため毎年行っている重要な調査です。今回の調査では「新型コロナウイルス感染症の市民生活への影響」「地域情報誌『宮っ子』」「こども未来センター」について、率直なご意見をおうかがいし、今後の市政推進のための資料とさせていただきます。

なお、この調査では、市内在住の18歳以上の市民のみなさまの中から無作為に3,500人の方々を選ばせていただいております。調査結果は、統計的に処理されますので、あなたの回答が公表されることはありません。また、調査結果の概要は、3月中旬頃に市ホームページに掲載するほか、次の場所で閲覧いただける予定です（市役所本庁舎、各支所、市民サービスセンター、アクタ西宮ステーション、各図書館、公民館）。

まことに恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、9月30日（木）までにご回答いただきますよう、ご協力をお願い申し上げます。

令和3年（2021年）9月

- 質問ごとにお願している方法に従って、あてはまる数字に○をつけたり、具体的な内容を枠内に記入して、お答えください。答えたくない質問や答えにくい質問は、回答せず、次の質問へお進みください。
- 調査についてのお問い合わせは 市民相談課（0798）35-3100 へお願いします。

西宮市長
石井登志郎

お答えいただく方について

問 1. お住まいのコミュニティ（お送りした封筒のお名前
右下の番号と地域名）をご記入ください。

コミュニティ番号	コミュニティ名
例： 1	例： 香櫨園

問 2. あなたの性別

1. 男性 2. 女性 3. その他

問 3. 令和3年（2021年）9月1日現在のあなたの年齢

1. 18歳・19歳 2. 20～29歳
3. 30～39歳 4. 40～49歳
5. 50～59歳 6. 60～64歳
7. 65～69歳 8. 70～79歳
9. 80歳以上

問 4. あなたの職業

1. 給与生活者（勤めている） 2. 自営業
3. 有業主婦・主夫（臨時社員・職員、パートなど） 4. 専業主婦・主夫
5. 年金生活者 6. 学生
7. 無職 8. その他

問 5. あなたを含めて、同居されているご家族の人数

1. 1人 2. 2人 3. 3人
4. 4人 5. 5人 6. 6人以上

問 6. 同居されているご家族の構成

1. 単身（ひとり暮らし）
2. 夫婦のみ
3. 夫婦とその未婚の子ども
4. 父親または母親とその未婚の子ども } ⇒ 問6-1へ
5. 息子夫婦または娘夫婦と同居
6. その他（_____）

問6-1. 問6で、「夫婦とその未婚の子ども」「父親または母親とその未婚の子ども」に○を付けた方にお聞きします。

子どもの年齢は次のうちどれですか。子どもが4人以上いる場合は年齢の若い順に3人までお答えください。

（それぞれについてあてはまるものを1つ選んで○、該当する子どもがいない方はそれぞれ6に○）

	未就学児	小学生	中学生	18歳まで 中学校卒業後から	19歳以上	該当する子どもは いない
ア 1人目	1	2	3	4	5	6
イ 2人目	1	2	3	4	5	
ウ 3人目	1	2	3	4	5	

問 7. あなたのお住まいの種別

1. 持ち家（一戸建て、長屋建て）
2. 持ち家（マンションなどの集合住宅）
3. 公営・公社・都市再生機構（UR）などの賃貸住宅
4. 民間の賃貸住宅・マンション、間借り
5. 社宅・寮など
6. その他（_____）

問 8. 西宮市には通算して何年間住んでいますか。

1. 3年未満 2. 3年以上～6年未満
3. 6年以上～10年未満 4. 10年以上～20年未満
5. 20年以上

問 9. 現在の場所には、何年間住んでいますか。

1. 3年未満 2. 3年以上～6年未満
3. 6年以上～10年未満 4. 10年以上～20年未満
5. 20年以上

問 10. あなたのご家庭の暮らし向きについて、どのように感じていますか。

1. かなり上のほう 2. 少し上のほう
3. ふつう 4. 少し下のほう
5. かなり下のほう

新型コロナウイルス感染症の市民生活への影響について

新型コロナウイルス感染症の拡大により、市民の皆さまの生活がどのような影響を受け、また、どのような支援を必要としているか等を把握し、今後の施策につなげたいと考えています。

問 11. 新型コロナウイルス感染症の流行・拡大前の 2019 年時点と比べて、暮らし向きに変化はありましたか。(1つ選んで○)

- 1. 悪くなった
- 2. やや悪くなった
- 3. あまり変わらない
- 4. やや良くなった
- 5. 良くなった

問 12. 長引くコロナ禍において、現在困っていることや心配に感じていることはありますか。(あてはまるものをすべて選んで○)

- 1. 収入の減少や支出の増加による家計の悪化
- 2. 相談できる人や助けてくれる人が身近にいない
- 3. 医療や福祉サービスが思うように受けられない
- 4. 体を動かす機会の減少などによる体調不良・健康状態の悪化
- 5. テレワークや時差出勤など働き方の変化によるストレスや負担の増加
- 6. 家庭における介護や子育ての負担の増加
- 7. 子どもの学習機会の確保・学力低下
- 8. 離れて暮らす家族、友人、知人、恋人などに会えない
- 9. オンラインサービスや電子決済の普及など急速なデジタル化についていけない
- 10. スポーツ、文化、芸術などを楽しむ機会の減少
- 11. 新型コロナウイルスの感染やワクチン接種に関する差別や嫌がらせ
- 12. その他(具体的に _____)
- 13. 特にない

問 13. 今後も新型コロナウイルス感染症による日常生活への影響が続いた場合に、重点的に実施してほしい施策はありますか。(あてはまるものをすべて選んで○)

- 1. 迅速なコロナワクチン接種
- 2. 接触機会の低減、飛沫防止、消毒の徹底など感染拡大防止に係る取組・支援
- 3. コロナに関する各種情報の迅速かつ幅広い発信
- 4. 打撃を受けている中小企業や自営業者への支援
- 5. 市内商業施設、商店などの消費喚起
- 6. 失業や就職難などに対する雇用対策
- 7. 生活困窮者への経済的支援
- 8. 安定した医療・福祉サービスの確保
- 9. フレイル(※)予防など日々の健康を維持するための取組・支援
- 10. 小学生・中学生への学習等支援
- 11. 市民活動・地域活動への支援
- 12. スポーツや文化・芸術活動への支援
- 13. その他(具体的に _____)
- 14. 特にない

※フレイルとは、年をとって筋力や認知機能、社会とのつながりなどが低下した状態のこと

問 14. ワクチンの接種が進み、新型コロナウイルス感染症が収束した後、何がしたいですか。(あてはまるものをすべて選んで○)

- 1. 離れて暮らす家族、友人、知人、恋人などに会いたい
- 2. 旅行をしたい
- 3. イベントや娯楽施設(カラオケや映画館など)に行きたい
- 4. 外食したい(宴会や会食含む)
- 5. 買い控えていたものを購入したい
- 6. スポーツや文化・芸術活動をしたい
- 7. 市民活動・地域活動をしたい
- 8. 仕事に力を入れたい(就職、転職、起業など)
- 9. 将来に備えて貯蓄したい
- 10. その他(具体的に _____)
- 11. 特にない

「宮っ子」について

西宮コミュニティ協会は、地域コミュニティを推進するため地域情報誌『宮っ子』を発行しています。『宮っ子』は、昭和54年(1979年)に創刊された地域情報誌で、企画、編集、配布を市民ボランティアが行っています。今後も『宮っ子』が市民に親しまれる地域情報誌であり続けるため、この調査結果を今後の誌面づくりなどの参考にしたいと考えています。

問 15. 『宮っ子』は自治会等の市民ボランティアにより各戸へ配布されていますが、自治会等が組織されていないなどの理由により『宮っ子』が配布されていない場合があります。あなたのご自宅へ『宮っ子』は配布されていますか。(1つ選んで○)

- 1. 配布されている
- 2. 配布されていない
- 3. 分からない

問 16. あなたは『宮っ子』をどの程度お読みになっていますか。(1つ選んで○)

- 1. よく読んでいる
 - 2. 時々読んでいる
 - 3. 以前は読んでいたが、最近(直近1年間)は読んでいない
 - 4. 読んだことがない(『宮っ子』を知らないを含む)
- ⇒ 問 18 へ

問 17. 問 16 で、「よく読んでいる」または「時々読んでいる」に○を付けた方にお聞きします。

あなたが、『宮っ子』を読む理由は次のうちのどれですか。(あてはまるものを最大3つ選んで○)

- 1. 地域の情報(学校や地域団体の活動など)が得られるから
- 2. 地域(知り合い)の人が取り上げられることがあるから
- 3. 特集記事のテーマが興味深いから
- 4. 生活情報が得られるから
- 5. 西宮市の地理や歴史などの知識が得られるから
- 6. イベント情報が掲載されているから
- 7. 読者プレゼントに応募したいから
- 8. 読むことが習慣になっているから
- 9. 時間が空いているときにちょうどよいから
- 10. その他(具体的に _____)

問 18. 問 16 で、「以前は読んでいたが、最近（直近 1 年間）は読んでいない」または「読んだことがない」に○を付けた方にお聞きします。

『宮っ子』を読まない理由は次のうちのどれですか。（あてはまるものを最大 3 つ選んで○）

1. 掲載されている情報に興味がないから
2. 掲載されている情報に速報性がないから
3. 毎号、記事内容に変化がないから
4. 字が小さくて読みづらいから
5. 『宮っ子』が手元に届かないから
6. 『宮っ子』自体を知らないから
7. 仕事などで忙しく読む時間がないから
8. 体調面で支障があるから
9. その他（具体的に _____）

問 19. すべての方にお聞きします。

『宮っ子』は、市民のボランティア編集員が企画、編集している地域の情報誌です。多くの市民が参画することで、身近な情報や地域の魅力を発信することを目指しています。あなたも『宮っ子』の企画、編集に参加したいと思いませんか。（1 つ選んで○）

1. 現在参加している（過去に参加したことがある）
2. 参加したい
3. 参加したくない
4. どちらともいえない

※『宮っ子』はパソコンやスマートフォンなどからWEB版を閲覧することができます。

問 20. WEB版の『宮っ子』についてあてはまるものはどれですか。（1 つ選んで○）

1. WEB版を知っており、閲覧したことがある
2. WEB版を知っているが、閲覧したことはない
3. WEB版を知らない

問 21. 『宮っ子』のような地域情報誌を読む場合、あなたは以下のどちらの媒体で読みたいと思いませんか。（1 つ選んで○）

1. 紙の印刷物
2. WEB版

「こども未来センター」について

『こども未来センター』は平成 27 年（2015 年）9 月に開所し、18 歳までの子どもの心身の発達や療育・福祉に関することや、教育や不登校、性格に関すること等、様々な悩みについて相談に応じ、必要な支援につなげています。認知度や利用状況、子育ての悩み等について調査することで今後のこども未来センターの運営に生かしたいと考えています。

問 22. あなたは『こども未来センター』を知っていますか。（1 つ選んで○）

1. よく知っている
2. 名前は聞いたことがある
3. 知らない

問 23. あなたやあなたの子どもが『こども未来センター』を利用したことがありますか。（1 つ選んで○）

1. 利用したことがある（現在利用中の方を含む）⇒ 問 24 へ
2. 利用したことがない ⇒ 問 25 へ

問 24. 問 23 で『利用したことがある』と答えた方にお聞きします。

利用したことがあるものは次のうちどれですか。（あてはまるものをすべて選んで○）

1. わかば園（児童発達支援センター）
2. 診療・リハビリ部門
3. 相談員による電話相談や来所相談
4. 計画相談（本人中心支援計画）
5. あすなる学級（教育支援センター）
6. その他（具体的に _____）

問 25. 問 23 で『利用したことがない』と答えた方にお聞きします。

その理由は次のうちどれですか。（あてはまるものをすべて選んで○）

1. 利用する必要がなかった
（例 子どもがいない、子育てに困っていない等）
2. 知らなかった
3. 子育てをしたのは『こども未来センター』が出来る前だった
4. 利用したかったが利用できなかった
5. その他（具体的に _____）

問 26. すべての方にお聞きします。

あなたは子育てに悩んだ経験はありますか。（1 つ選んで○）

1. 悩んだことがある ⇒ 問 27・問 28 へ
2. 悩んだことは無い ⇒ 問 29 へ
3. 該当しない（例 子どもがいない等） ⇒ 問 29 へ

問 27. 問 26 で『悩んだことがある』と答えた方にお聞きします。

『こども未来センター』では主に下記のような子育ての悩みについて相談を受けていますが、あなたは子育てについて下記の悩みがありましたか。（それぞれについてあてはまるものを 1 つ選んで○）

	とても悩んだ	少し悩んだ	あまり悩まなかった	悩まなかった	よく分からない
ア 発達や育ちについて	1	2	3	4	5
イ 育てにくさについて	1	2	3	4	5
ウ 不登校や学校への行き渋りについて	1	2	3	4	5
エ 集団における行動の難しさについて	1	2	3	4	5
オ 対人関係とコミュニケーションについて	1	2	3	4	5
カ 親子関係について	1	2	3	4	5
キ 学校園所との関係について	1	2	3	4	5

問 28. 問 26 で『悩んだことがある』と答えた方にお聞きします。

- ①あなたは子育ての悩みについて誰かに相談しましたか。
 ②また相談した結果、悩みはどの程度解決しましたか。
 (それぞれについてあてはまるものを1つ選んで○)

①で「相談した」に○を付けた項目は、
 ②もご回答ください。

	①相談		②解決		
	相談した	相談しなかった	解決した	少し解決した	解決しなかった
ア 配偶者やパートナー	1	2	1	2	3
イ 自分の親やきょうだい等	1	2	1	2	3
ウ 友人	1	2	1	2	3
エ 所属する学校園所の先生等	1	2	1	2	3
オ 保健所・保健福祉センターの保健師等	1	2	1	2	3
カ 民生委員・児童委員	1	2	1	2	3
キ かかりつけの医師・看護師	1	2	1	2	3
ク 『こども未来センター』の相談員やスタッフ	1	2	1	2	3
ケ その他市の相談窓口	1	2	1	2	3
コ その他()	1	2	1	2	3

問 29. すべての方にお聞きします。

あなたは障害がある子ども達への支援について、どのようなことが大切だと思いますか。(あてはまるものを最大3つ選んで○、よく分からない場合は9に○)

1. 訓練(リハビリ等)の充実
2. 教育の充実
3. 社会参加の機会の充実
4. 保護者への支援体制の充実
5. 乳幼児から学校卒業後までの一貫した支援の充実
6. 地域のコミュニティでの支援体制の充実
7. 市民への理解を深めるための広報・啓発の充実
8. その他(具体的に)
9. よく分からない

問 30. すべての方にお聞きします。

あなたは『こども未来センター』がもっと市民に認知され、より利用しやすい施設になるためにはどうすべきだと思いますか。(あてはまるものを最大3つ選んで○、よく分からない場合は10に○)

1. 子育て世代への広報や啓発を進める
2. 気軽に相談しやすい雰囲気づくりを進める
3. 地域のコミュニティとの連携を進める
4. 学校園所との連携を進める
5. 『こども未来センター』と同じような施設を増やす
6. 子育て講座等の研修の機会を増やす
7. 仕事を持つ親が利用しやすいシステムを作る
8. 職員の数をもっと増やす
9. その他(具体的に)
10. よく分からない

○ 明日の西宮のこと、市政に対するご意見などがありましたら、お書きください。
 (※記載内容への回答はいたしません)

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。
 同封の封筒に入れ、9月30日(木)までに投函ください。



「西宮市キャラクター みやたん」